



色づくトチの老木

原生林の入り口には
 ススキの穂が揺れ
 赤トンボの戯れる空は
 どこまでも澄み渡る
 トチの老木は次第に
 秋の様相へと
 黄味を増す
 秋風にざわめく梢から
 差し込む光線もやわらかく

この深い神秘的な原生林を
 秋のペールで包み込んでゆく



由良川源流上谷の秋



アキアカネ
(美山町)

京都北山撮影紀行 ⑫

さん や しょう よう 山野逍遙

——原生林の秋——

撮影 北川 裕久



由良川源流上谷 (杉尾峠付近)

季節の



ミゾソバ



ツチアケビ



コスモス

実景

撮影 武市通治

初秋



ヒガンバナ



ススキ



秋の高原・別荘（奥夢科）

編集室



秋の高原・ススキの原（霧ヶ峰）

編集室



秋の高原・ダケカンバ（美ヶ原）

編集室



秋の高原・カラマツ（白根湖）

編集室

●目次

表紙・松田敏男「千枚岳より朝の赤石岳を望む」(南アルプス)

●作者プロフィール ●1949年、京都府生まれ。京都府立釜ヶ崎高等学校。
1987年より山岳新聞、山岳新聞の編集多岐にわたる。南アルプス山岳会、他。
京都府山岳新聞社代表、日本山岳会委員、一等山岳研究員

新作 別冊 山の山
1993年9・10月 初秋 12号

●グラビア	京都北山撮影紀行の「原生林の秋」	武川 裕久
●随想(山のニッセイ)	季節の実景(初秋)	武市 通治
●砂防の父、アレキの繁栄神話		綱本 逸雄
●毒茸を食ひて酔わさる話		松永 恵一
●淡秀流山岳俳句の方法		吉田 信秀
●行 三子山から四方草山		柴垣 貞夫
●鐵岳と卯宮		松田 敏男
●(随感)日本登山紀行10 燈ヶ岳		浅野 孝一
●百里ヶ岳		内田 嘉弘
●三室山と後山		酒井 賢治
●宿黄母		山形 歳之
●連載エッセイ・京都北山ほんまのはなし6		北川 裕久
●第26話海軍		35
●第27話断念		36
●第28話山道を捨てての日		37
●京都北山・やぶ過ぎ痛快山行記(11)		38
●京都八丁・刑部谷から滝の谷(ワトバ峠) 京都北山グループ		41
●文学歴史探訪ハイキング 秋風吹く生駒山		44
●コース 1)行明山		44
●2)野登ヶ峰		50
●3)登山		52
●4)高見堂時(モンガワラ)		54
●アウトドア・ライフ入門②「月見と秋の七草」		48
●たのしい山歩き・尾瀬雑考②「浅雷の尾瀬」		24
●沿線ハイキングガイド		38
●せせらぎ		62
●ウービスチエーン		62
●新ハイ関西山行計画		65
●バス時刻(新巻)		67
●雑誌後記・広告案内		72
		48
		56
		52
		50
		44
		41
		39
		38
		35
		26
		26
		20
		16
		13
		12
		11
		10
		4
		2

●巻頭言

ハイキングは山へ登ったり、森や林の中を歩くことが多い行いです。人気がほとんど無い山の中を歩くことによって、自分本来の姿を取り戻すことができるという意味では、現在社会の中であって、貴重で素晴らしい趣味のひとつといわれています。

複雑な人間関係や、車水のような高層階級社会で暮らしている私などは、肉体的にはともかく、精神的な面でずいぶん疲れているのではないのでしょうか。スポーツ選手にはあつさりした性格で、明るく人が多い。物事を単純に考え、あまりクヨクヨすることが無いようです。汗を流すことが精神的な面にも影響しているのです。

現代人の疲労は、多分に精神的なストレスに起因しています。物事の判断力・決断力が鈍ったり、深く考えすぎたり、人や物事に頼らないと河もできないというふうな時はかなり疲れているといえます。

毎日疲れているのに、なぜ山に登ったりするのかと尋ねられるが、私の場合はそんな疲れを感じるとき、山に入って汗を流してリフレッシュしています。ハイキングの真の効用は精神的疲労の回復にあると思っています。

新ハイキング写真 代表 村田哲哉

自然を歩く仲間です。

THANKS 25th ANNIVERSARY

夏最大の登山&キャンプバーゲン

春夏物大処分

登山用品・シューズ・ソックス
登山ウェア・レインウェア・小物など、
この夏最後のお買得バーゲン開催!!

ご来店の際、新ハイキングクラブ・メンバーズカードをご提示の方には、
OD BOXメンバーズ価格でご提供。
*このOD BOXは一部メーカーの登山ウェア、登山靴、ザックなどが対象。各店舗のご来店をお祈りしております。

遊	衣	自然で暮らす。
休	食	
CAMP	住	
OD BOX		

アウトドアライフのトータルショップ

OD BOXのコンセプトは「自然と遊ぶ素敵生活」。自分の好きなことで自然とふれあふ。「登山」の楽しさを追って、もっと自然と仲良くしたい。OD BOXはそんなハートを満たす、一年中アウトドアの専門店です。

※店頭販売でもお求めいただけます。お電話にお問い合せください。
(TEL: 03-5311-1111)

フロアが変更してさらに
見やすくなりました。

- 4F ライフル・カヌー
- 3F テニス・ランニング用品
- 2F キャンプ・登山用品・アウトドアウェア
- 1F バッグ・アウトドア雑貨
- B1 ダイビング用品

OD BOX大塚店
〒332 大塚市中央区心産2-10-34
TEL: 03(2)216566
休日/第3水曜日
営業時間/AM10:30-PM8:00
日・夜AM10:30-PM7:00



克



克

随想 (山のエッセイ)

砂防の父 デレーケの築堤神話

綱本 逸雄

滋賀県・湖南アルプスの田上山や金勝アルプスを訪れたハイカーは、たいてい明治初期に築じたオランダ人土木技師、ヨハネス・デレーケの名前を知る機会がある。

土砂流出の激しい伊豆山の近代的砂防工事を行い、オランダ築堤といわれる砂防堤が残っているからだ。いずれも1889年(明治二十二年)完成で、日本最古の砂防ダム、わが国砂防工事発祥の記念碑とされている。京都市相楽郡山城町の木津川支流不動川相谷にもデレーケ築堤がある。

現地の記念碑や案内板、地学や歴史関係書には「オランダ人技師が西洋技術を導入し、施工された」と大體説明してあるので、最近ま

で、これらのダムはデレーケ自身が造ったものとは思い込んでいた。明治初期、河川の水害多発に対応して、政府は本格的な治山治水事業に乗り出し、オランダ人技師、デレーケらを1873年(明治八年)に招へい、彼らは全国各地で治水技術を指導した。

彼は、お雇い外国人技師のなかでは30年間という長期にわたって滞在し、最初の内務省の直轄である淀川治水計画に携わった。政府にとって琵琶湖湖沼としての大規模築堤が急務だったからだ。

ところが外国航路の大型船舶が擱浅できる港の水深を確保するために、淀川からの土砂流出を食い止める必要があった。

デレーケらは淀川上流域の各河川を調査したが、最も山が荒れ、土砂流出がひどいおびただしかったのが、木津川支流の不動川だった。1875年(明治八年)から2年間「デレーケ工法」による試験築堤が実施され、1878年(明治十一年)から不動川の本格的砂防

工事が始まった。

つまり日本で最初に近代砂防工事が取り組まれたのは不動川であった。むしろ瀬田川流域は日本人技師が工事の必要を説いたのに、デレーケは軽視した。

山らしい山のないオランダの技術はもっぱら低水工事を中心だった。乱流や浅瀬を除き水深を増して、船の航路を維持する利水を主眼とするものである。彼が各地の河川を視察したとき、河床勾配が急なのをみて、「これは川でなく滝だ」と驚いたのは有名な話で、来日当初は、砂防技術を身に付けていなくて、新たにフランスから学んだといわれている。

近年、デレーケ研究が盛んである。そのひとつで、山城町史の編纂にかかわった水戸政清氏によると、不動川の工事は内務省と京都府の共同で行われ、内務省はデレーケらお雇い技師を派遣した。市川はデレーケ工法に批判的であった。内務省にあてた意見書や

自著「水理真宝」で、「有害無益」「費用がかかりすぎ」などと酷評し、各河の先進技術を紹介している。

デレーケが、山腹工事は運東案郷工、砂防堤は大規模、土堰堤などの工法であるのに対し、市川は山腹に直落工、砂防は小規模、石堰堤など別の工法を実施した。

1880年(明治十三年)夏の水害で、デレーケ指導の築堤はほとんど崩れた。市川が1875年(明治八年)不動川相谷で建設した石堰堤は、1953年(昭和二十八年)の南山城水害にも耐え、約百年の役割を果たし、現在も砂防工事が行われている。この水害の時、不動川本川のデレーケ設計の築堤は決壊した。

田上山や金勝山のオランダ築堤ともいわれるダムも、田辺義三郎技師の設計である。各地の砂防工事し、江戸時代の工法が大半使われ、先発技術は一部だけという。デレーケが高く評価されている割には、日本人技師の業績がほとんど陰に隠れ知られていない。

近代砂防工事を確立するのにデレーケ一人ではできないわけがないのである。

水戸氏によると、世界各国の山の保全では、当時日本が最も遅れた治山対策はデレーケが模範としたフランスより百年以上も古かったという。市川義方が、近世の土木技術のうえに、西洋技術を取り入れて改良した砂防工法のほうが、デレーケより一枚上だったのも無理はない。明治中期になると、徳水工事中心のオランダ技術に国内で材料が足りなくなり、やがてデレーケは帰国した。(参考)「淀川百年史」日本砂防史、「デレーケ研究」第五号ほか。

毒茸を食ひて 酔わざる話

松水 恵一

秋の山で、きのこによく出会う。日本には約5000種くらいいる。

のこが分布しているという。そのうち分かっていいるのが1500種、食べられるきのこは200種くらいあるという。毒きのこは50種くらい。毒きのこが数十種。色がけばけばしいのが毒きのこ、疑に食べれば安全、傘がもろければ毒きのこ、これらすべてを避けて、ひとつひとつ手にとって特徴をしっかりと覚える。はつきりと分らない時は口にすることをやめよう。さきの毒りをよくする人に同行して、食用きのこ、毒きのこについて勉強しよう。毒きのこは誤って食べると死に至る猛毒のもの、下痢や嘔吐などを伴い腹痛に悩まされるもの、神経を犯され、幻覚に襲われるものなどが知られている。

俳聖松尾芭蕉は元禄七年(1694)10月、きのこ料理による中毒がもとで下痢や嘔吐に悩まされ大阪で亡くなったという。

消化はあまりよくないし、きのこ料理で酒を飲むと酔酔する。おいしいきのこでも、その土地では食べなかつたり、毒きのこだと



随想 (山のエッセイ)

いうこともある。また、食べ慣れた人は中毒しないこともあるという。そんなさきこの話が平安時代の『今昔物語集』に載っている。金華山(吉野山)の別当は八十余歳であるが健康そのもので、いっしょに死にそうになかった。次席の僧は、「私も七十歳を数えた。ひまっとしたら、別当にならぬままに、先に死ぬかもしれない。そうだ。毒薬を食べさせて殺してしまおう」と、毒薬による殺害を考えた。和太利という毒を食べると、中毒して必ず死ぬ。平毒と偽って食べさせると死ぬに違いない。そうして私が別当になろう」とたたくらみ、その年の秋参行した。別当は和太利を食べ、次席の僧は平毒を食べた。うまくいった。今にへどを吐き散らし、腹痛で症いまわるだろう」とやきまきして見守っている。別当は、にやにやして「こんなにおいしく料理した和太利は食べたことごとくありませんでな」と御馳走の礼を言わうのであった。さては和太利と知って

いたのか」びつくり仰天どこの話ではない。あわてふためいて自分の房へ逃げ帰った。この別当は、あなたも和太利を食べ、茸の毒にあたらぬ体質であったのを知らないで計画したので、すっかり当てはずれになってしまった。毒薬を食べても、中毒しない人もいるのである。

(巻首二十八 本道世俗部)

弦秀流

山岳俳句の一方法

吉田 信秀

「尾押句のきつかけ」(第10号)に関連して、私なりの山岳俳句の方法について書いてみます。無定形自由俳句というものもあります。俳句(俳諧)と切れ字を入れた花鳥風月を詠む俳句の方法で作ってみましょう。この形式に則ると簡単に作る事ができます。五・七・五の二カ

所に季語と山名(地名)を入れ、残り一カ所を山のイメージに合った言葉で埋めれば完成します。「十六夜合」(第6号)の例
枯木立雪空を染み出す山
「枯木立」という季語と「日出ヶ岳」という山名の他に、「雪空を染み出す」という山のイメージを添えているだけです。

しかし反面、類型的な句になりがちで、作者の心情が全く伝わってこないという欠点があります。もちろん俳句も本質的には、単なる叙景ではなく、作者の主観的な意志の表現であるはずで、俳句の根本がいかんが生句にあるとはいえず、事物の客観的写生の背後に主観的な意志を隠さざるべきです。俳句といえは、その意志が感じ取れない作品はすべて凡作であるといえるからです。しかしながら、このような方法によれば、出来の良し悪しは別として、思いつくまま簡単に作る事ができますので、弦秀流山岳俳句の一方法として紹介します。

鈴鹿峠に往時をしのお

三子山から四方草山

柴垣 貞夫

鈴鹿

南北に長くのびる鈴鹿山系で、南の端に近い三子山(568m)や四方草山(667・4m)は、標高が700mに満たない低山なので、ガイドブックや口伝で紹介されることもなく、登る人のまれな山である。仙ヶ岳から安曇越えをして、鈴鹿峠に至る峠道(但しこの道は利用される事も少なく荒れて廢道に近い)に位置し、三子山側から見守ると、三子山のピークが連なり、ちよつと登ってみたくなる山である。

鈴鹿峠には国道1号線が通じているもののバスなどには交通機関が乏しく不便な山城なので、どうしてもマイカーに頼るしか手がない。京都を8時に出発、名神、国道1号線を経て、鈴鹿トンネルの手前若宮で右折し、

9時30分茶畑の中に建つ石造りの、万人講常夜灯わきの登山口に到着。高さ5・4m、重さが38tもある巨大な常夜灯を目のあたりにすると、昔の街道のにぎわった往時をしのおことが出来る。

江戸時代の旅人を悩ませたこの付近は、雨や霧が質の良い茶を産出するらしく、よく手入れされた茶畑が広がり、右手には高畑山の長い尾根がどっしりと横たわるとか茶畑色には、坂は照る照る。鈴鹿は昔、間の二口雨が降ると馬子唄に唄われた面影が今も残っている。

今日は幸い少し風があるが曇り空で、時々薄日がさす絶好の登山日和。疲弊に人と出会わない静かな山行が出来そうである。

三子山にて(後方は高畑山)



常夜灯をあとに少し行くと、東海自然歩道に合流し、立派な道標をみる。直進すると、高畑山から新須ヶ原止に向かう御給理の峠だ。路や、坂下の真尋堂に遊んでいる。「三子山へ40分の道標に「エニツこんな短時間で見れる山なの?」とびつくり。「これはどうしても四方草山まで足をのぼさなアカンナア」と、左に折れて自然歩道に入る。茶畑がきれいだと、榊木林のなか昔の街道の面影を残す石段道で

曾爾高原のふたつの岩峰

鑑岳と兜岳

室生

松田敏男

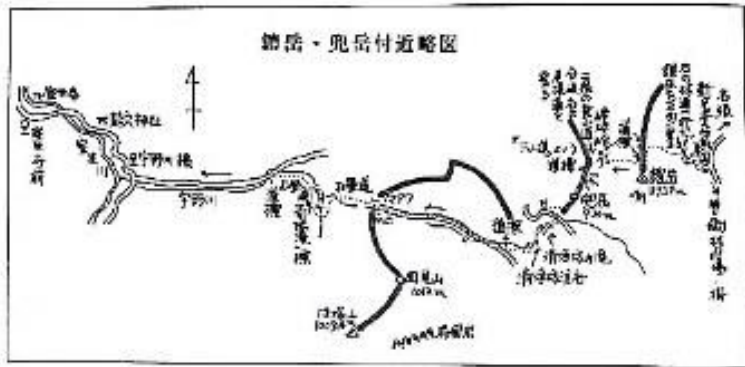
鑑岳の登路よりみた鑑岳



奈良県御所市を中心とし、室生町、御所町、三道町を擁する。美形町に在る室生火山群は、室生赤白青山園定公園に指定され、近畿地方では首級の山岳を備えている。この火山群の最高峰である鑑岳(山)を中心に、西に鑑岳(山)、御所山、住友山など、東には尾ヶ崎(山)などを含めて、1000m級の前後の山々には、変化に富んだ山容を呈している。南北の麓に、玉の山脈の間には、曾爾川(昔瀬寺川)と名取川(神末川)が流れ、美しい山村風景を形づくっている。山脈の東側には岩壁が発達し、新緑に紅葉に、そのコントラストはたいへん美しく、登山者だけでなく、昔から画家の題材としてよく好まれた所である。

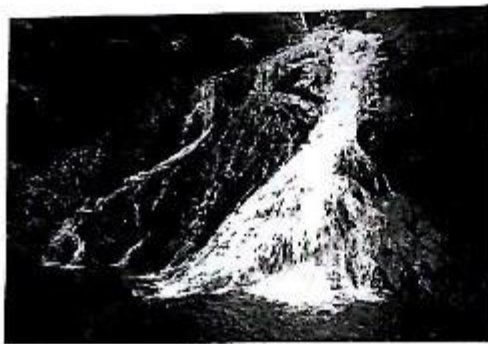
御所山には広大なススキの原が広がっているが、地元の人々の話によると、以前標高を稼ぐためのものだったのだが、今でもそのまま残して、曾爾村の名所になっているそうである。昔の高き標もあるススキの原の中をさまよっていると、たいそうメルヘンチックな気分になる。標高の雰囲気を持っている。そしてそこから眺めるゴングツとした鑑岳とが相映して見える。鑑岳は、遠隔一泊して訪れる人にとっても、充分な感動を味わえることとなる。また初めに鑑岳を登る時は、その南方向の曾爾川に架かる鑑岳橋という名の橋があるとおろし、その橋から眺める山の姿はちよつと鑑岳根を眺めたいくなる。恐ろしく怖さそうに見えるので、山がこちらに倒れてきそうに

感任感がある。特に谷間が暗く、ほんたうの斜光線の時、手前に張り出す岩壁がコントラストを強くして、怪異さを感じず。近頃大型観光客が、一番のバスに乗れるように朝早く家を出た。まだ霧が走っていない時間、昔の車道を走り、すいぶん時間をかけて多摩川に渡った。名取からのバスは車窓の眺めがすばらしい。先程述べた二本の川が分かれる見聞の神社から右折に入り、しば



らくて昔瀬寺湖群に出る。ダム池だが入り込んでいて通過に時間がかかり、再開する頃腰が楽しい。湖を過ぎると急に谷は狭くなる。上の方の山だけを見ていくと、この奥にバス道の道が通じているのかと察せられる程の狭まりようだ。何を言っても立派な標高があるわけには、それがどれなのか同定できない所が多いが、なかなか美しい風景だ。ただ、数少ないのは、こんな美しい地形をしているのに、ススキが植栽されていることだ。昔頃だから、広葉樹のままにしておいたなら、美しい紅葉や新緑が見られるのに、またそれを御光のポイントにできるのに、何故こんな急斜面に植栽をしてしまったのだろうか。赤目四十八滝への上流側からの入り口である落石口、少し谷は広がるが、そのあともう一度狭くなって、一番の尾所の小太郎岩が左手に高く聳り、それを過ぎると急に標高は広がって、のどかな山村に入っていくのであった。

新室木商店で下り、登山口を尋ねる。地元の人には「鑑ヶ岳」とおっしゃった。しばらく鑑ヶ岳道を進むが、鑑ヶ岳が正面に見える所で林道を入れ、山道に入る。鑑ヶ岳から見上げる形とはまるで違い、衆の姿を横から眺めているような山容だ。頭頂だけが岩壁で切れ落ち、胴体にあたる部分は何の装飾もない植林の山だ。回し道くまで植林が縦にしているのが分かる。登山道は遠くともなく主尾根に出た。そこには道標があり、それに従って左に折れる。左は自然林、右は植栽の道を進むと、すくなくまた道標があり、右に曲がれば後に伴う兜岳への道だ。今は鑑ヶ岳へまっすぐ向かう。山頂とは思えない風景が目の前にあった。三角点があるから山頂なのだ。何も見えないし、右手は植栽でそんなに急でもない。あの岩の壁を越えた鑑ヶ岳か、怪異な形の山上にいたと、とても想像がつかない。周囲は密生したススキと下りてみる。すぐには急にはならない。繁茂した木々のわずかなすき間から快晴の青空が見える。白い幹と黄葉した枝をミックスさせて、背窓に向けて実直を撮る。鑑ヶ岳の記念写真だ。



滝神坊溪谷の滝

きた人たちだろ、10人程の年配のパーティが、元気を声でしゃべりながら休んでいた。私はクマタワを越えて、室生川上流の宇野川の流が現れ始めた所で休む。この辺りも石畳の道が続き、しっとりとした情緒がある。流れを渡り、本流との出合いらしき所は根根の嵐のようになっており、谷は深く、その谷から流の音が聞こえてくる。今度は降りられるような表面ではない。ずいぶん急で深そう

は驟然とした形の滝だ。石畳の道が一瞬間を深めている。流れを渡り、木の葉が腐って鉄板の板けた所もある階段を登る。手すりは流に落ちたおまりの不安はない。三つめの道路に出た。ほんのわずかの溪谷だ。付録だったから、ずいぶん得をした。気分になった。左に下れば湯桶川に流れるが、少しでも崩りの運賃が安くなるように室生寺へ向かうことに決める。

大発見した気分であれなくなった。またガソリンと補給路に戻るが、その道は左へ大きく曲がって登っていて、めざすクマタワへの道は地道となった。暗い樹林の中の道となり、トイレのあるクマタワに着く。住家山、回山山からの道が合流し、そこから下って

だ。木々の間から眼を凝らすと、確認できない。そのまま進むと、道は下つていらないのに、流れが上がってきた。石橋を渡る。この下す々の滝は、木々の間から少し見えた。左岸の山腹を流音を聞きながら下る。「樹林」の標識があり、少し白いのが見える。ここは近づけそう。またガソリン降りて行くが、あまり近くまで行けなかった。音のないナメジリが数十分続いているようだ。広角のフライングにも入りきれない。石畳の道を下る。今日はずいぶんいろいろと見る事ができて、満ち足りた気分だった。

林道に出た所に看板があった。10月3日に熊の足跡を見た。室生川の皆さん、注意を十分と大書きして、熊の写真コピーが貼られてあった。コピーというのは、たいそう恐しく見えるものだ。今日は10月18日、15日目の話だ。秋の夕暮れ、少々暗くなる頃、私は時々大声を張り上げながら足早に歩いた。熊は時々近かった。そこにはもともと立派な熊の看板が立てかけてあった。

宇野川橋のバス道が見える所まで来た時に、バスが室生方面に走り去って行った。2分程の遅いで1時間以上の待ち合わせとなった。しかたなく歩くことにする。途中の龍穴神宮を通る頃には、もう真つ暗に近



GAIA

キャンプ・ハイキング ザック

テトラ 48L 赤札 ¥9,000
アリゾナ35L # ¥6,800

GAIA JAPAN
ヨミスポーツ
〒543 大阪市天王寺区南河堀4-70
TEL06(772)7231
FAX.06(779)2191



特長
① パラレル、インナーフーム付
② スーパーウエストベルト付



鈴鹿 鈴鹿平野の山頂

豊かな樹林と深谷の続く静かな山頂
かつての人の里(神村)への神路を通る四季
豊富な写真と地図(案内する)の神路
は 第一巻 定価1800円(税別)

山人舎
0527-01 滋賀県栗原郡津原町下野5
00749(45)2458 0526-67011
0527-01 滋賀県栗原郡津原町下野5
00749(45)2458 0526-67011
0527-01 滋賀県栗原郡津原町下野5
00749(45)2458 0526-67011

い時間だったので、大杉の響きとした境内は、ことさらに不気味だった。室生寺前に着いた時は、バスの明かりがあたたかかった。

平成4年10月18日歩く

▲コースタイム▼
新室本店前(1時間20分) 神村(1時間20分)
神村(35分) 神村(35分) 滝神坊溪谷分岐(35分)
滝神坊溪谷(1時間) クマタワ(55分) 南
松崎(35分) 宇野川橋(30分) 室生寺前
▲地形図▼ 2力5千1 信濃野山・大和の野
昭文社「52巻目・信濃野山」

燧ヶ岳

2356m

浅野孝一

「日本山誌」は、「燧ヶ岳(別稱火打方巖) 岩岸(南會津郡ノ南西方ニアリ、檢度坂村ヨリ二里二十五町ニシテ其山頂ニ達ス、標高七千八百六十九尺)」と実にそつけない説明に終わっている。至仏山の記述もないのは、この時代尾瀬一帯は登山にとって未開発の地域であったからだ。

登山家として初期に尾瀬へ足を踏み入れたのは、植物学者としても著名な武田久吉博士であった。明治三十八年(1905)7月5日から10日に渡っての記録が残されている。しかしこれも尾瀬ヶ原の縦断であり、燧ヶ岳へは登っていない。

尾瀬ヶ原の西と東にそびえる至仏山、燧ヶ岳への近代的登山は、これよりずっと後のこ

とになる。南会津地方には、燧明神を祭神とする神社のあることを承知しているが、燧ヶ岳との関係については不明の点があるようだ。

明治期に入って燧ヶ岳の開山を目ざしたのは、尾瀬山人を称していた浅野長政であった。明治二十二年(1889)9月登山、更に同年9月26日には群馬県側の人々と再度登山。山頂に石祠を祀った。

長政は自著「尾瀬開山實記」の中で、「燧ヶ岳ハ岩岸國第一ノ高山ニ面高サ海拔七千尺餘、山嶽五ツニ枝レ、東ヲ「眞似板巖」ト稱シ西ヲ「赤羽安巖」ト云フ。申ノ方「御池巖」ト稱シ、北嶺並ヲ「赤奈久禮巖」ト云フ。山ノ形皆富士山ニ似テ四時自呈絶エズ」と記して

見晴付近からみた燧ヶ岳



おり、「岩岸を通行人登山者のため原野開拓。尻に行者小屋を作ったのは、明治二十三年(1890)のことであった。長政小屋の原形ができたのである。

燧ヶ岳に関する古い文献は、武田久吉の「尾瀬紀行」ではないかと考えられる。その中で「岩岸の西南隅上州と接する邊に一山あり、燧ヶ岳と云ふ、海を抜くこと七十七尺、峰頭二つに分る。之を日光の踏山より望むに形貌

頗る秀麗なり」と記している。

関東以北の最高峰で、溶岩と砂礫のような火山砕積物を交互に噴出して出来た成層火山なので、山林は富士山型の優美なものであったが、長沼クレーター形成、赤ナグレ岳の噴出等があり、山頂部はいくつかの峰に分裂した。さらに北面の爆裂で、最高峰の榮安窟

と三角点のある須山に分かれ、北方の急峻削ヶ岳から眺めると美しい双峰になっている。

燧ヶ岳へは、北方からは尾瀬御池から登るのが一番早い。出来れば南方の鳩待峠から山ノ鼻に入山し、尾瀬ヶ原を歩き周囲の山々を眺め、早晴に治まってから登山するのが良

いのではないかと考えている。

広い尾瀬ヶ原の木道を歩いてゆくと、前方に燧ヶ岳が見え、木道の左右には大小の池畑があり、浮島などをみるこがである。左手に根掛山が見え、背後には次第に遠のいてゆく至仏山、前方に歩くに従い燧ヶ岳が徐々に近づいてくる。尾瀬ヶ原の風景を充分満喫して、その日は見晴に泊まる。

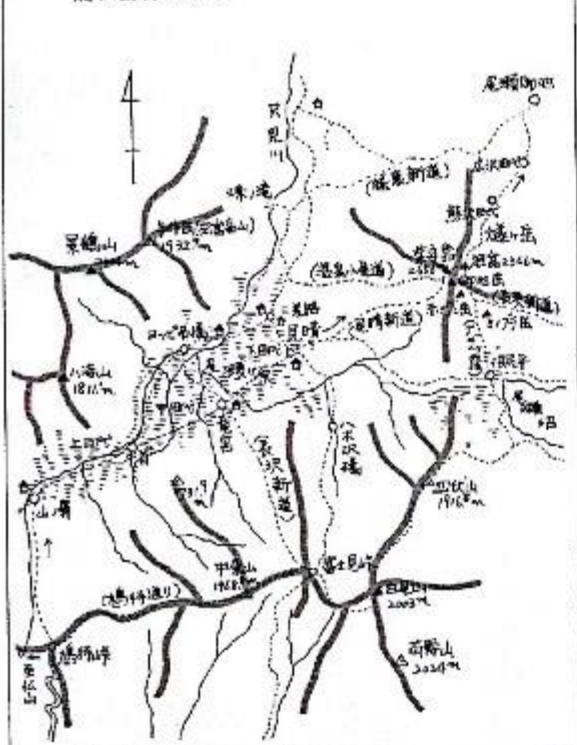
燧ヶ岳へは、東西南北から登山道があるが、見晴に泊まった場合は、見晴から尾瀬林道を歩いて、左に分かれる登山道(尾瀬新道)を登った方がよい。

ゆるい森林帯をぬけると小沢沿いの登山道となり、傾斜が増すと滝沢(ここを急登する。赤ナグレ岳の斜面をたどり、ハイマツ帯に入ると、その縁取小屋からの登山道と合流する。眼下に尾瀬ヶ原と至仏山が見渡せる。歩さにくい岩帯を通り最高峰の榮安窟にたどり着く。ここからの展望は申し分のないものである。三角点のある須山へは、一度緩急(下)でから登り返す。

尾瀬谷、それとよりまき山々、そして日光連山や那須の山々が見え、北方には会津駒ヶ岳あたりから平ヶ岳、奥只見が見える。

下山道としては、南へ尾瀬谷にかけてナデツ雲を下るのが一番早い。又、東へ延びる長

燧ヶ岳付近略図





至伏山への道からみた尾瀬ヶ原と燧ヶ岳

美新道をたどって長蔵小屋へ下ることも可能である。
早くバスに乗りたい場合は、北へ下って尾瀬御池へ出る。須賀から歩きにくい岩帯を下ってゆく。滝大帯を通り能沢田代の気分の良い湿原に出る。ここから更に木道を下ってゆくと、途中木道がなくなるとヒザまで没するような泥んこの道になり苦労する。そして再び湿原に出る。そこには広沢田代、ふり返

ると燧ヶ岳の山体が大きく立ちはだかつてい
る。
あいかわらずぬかるみは狭く、樹林帯に
入れば尾瀬御池は近い。

尾瀬御池からバスで会津高原駅に出て、野
岩鉄道、東武鉄道に乗り換え、東武浅草駅に
戻る。
前述のように燧ヶ岳の登山としての証し
は、明治期に入ってからのものである。この
ような例としては、秩父御岳山がある。明治
期に入ってから、木曾の御嶽山に登った登山
行者の後継者が開山した山なので、武蔵地方
の地理書「新編武蔵風土記稿」に山名の記載
はない。

▲コースタイム▼
馬場峠(1時間) 山ノ鼻(45分) 中田代三差
路(30分) 中田代十字路(30分) 見晴(道
見所)(15分) 見晴新道登山口(2時間40分)
柴安堂(15分) 組立(1時間10分) 能沢田代
(30分) 広沢田代(30分) 尾瀬御池
(地形図) 2方5千・燧ヶ岳・尾瀬ヶ原・
至伏山・二豆峠
昭文社「30尾瀬」

野外活動に伴う危険と対策

坂井 久光

自然は美しいがその反面、恐ろしい危険
もたくさん潜んでいる。
野や山には、美しい蝶やトンボが舞って
いる。これらには、ほとんど危険はないが、
中には鱈粉などに毒を持つ蛾や蝶がいるの
で、用心が肝要である。
なかでも蜂類、特にスズメバチは、毎年
多くの被害があり、死ぬ人もいる。その毒
は、普通の蜂の蟻酸とは異なり、アンモニ
ア水等のアルカリで中和できない。日本に
はオオスズメバチ、クロスズメバチ、キイ
ロスズメバチの三種が生息している。古木
の洞穴や巣の下などに巣段になった大きな
巣を作る。一群に数百匹で集は直撃的に
達することもある。きわめて攻撃性が強い。
スズメバチに襲われた場合には、すぐに
医者の手当てを受けること。なお巣に近づ
かないように、見回りのスズメバチを見つ
けたら、即時に道を変更するのが賢明である。

新ハイキング選書

【第6巻】再版出来！
花の山を行く
松本雪枝 著
その足跡の伝、山の花をたずねてのしをみとした紀行文集。
★好評発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1650円(税込)

【第8巻】
旅がらすの山
富田弘平 著
北日本、東日本、中日本、西日本、南日本、四国、沖縄をめぐり、
北の山、東の山、南の山、西の山、南の山、西の山、南の山、西の山、
★上製本・B6判・約350頁、カラー18頁、写真、スケッチ、図説多量
★三版発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1800円(税込)

【第9巻】安藤正義／山田静子／本郷善博／沼田弘平／松本浩吉 著
一等三角点の名山100
北の山から南の山まで、全国100の一等三角点の名山の最新紀行
★三版発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1650円(税込)

【第10巻】
四季の山
沢 聰 著 画と文
春の山、夏の山、秋の山、冬の山、四季を通じて、山を歩くと、
★最新刊・好評発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1900円(税込)

【第11巻】
いで湯浴泉記
大石真人 著
あまり知られていない温泉を調べた記事が多く、また、知られてい
る温泉についても、奥地に掘り下げて、すべての温泉の歴史をい
れ、読み物としても楽しめる。温泉の歴史、温泉の文化、温泉の
★最新刊・好評発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1700円(税込)

【第12巻】
東海自然歩道を歩く
後藤典重 編著
★最新刊・好評発売中！
★上製本・A5判・約112頁
定価1300円(税込)

【第13巻】
甲斐の山
小林経雄 著
この本では、甲斐の山々を百山、二百山といわず、なるべく多く紹
介しようとした。甲斐の山について、それだけでなく、山を歩くと
その山にかかわる歴史などを著者の視点から紹介する。
★最新刊・好評発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1800円(税込)

【第14巻】
百歳までの山登り
富田弘平 著
北から南まで、その足跡の伝、山を歩くと、山を歩くと、山を歩くと、
★最新刊・好評発売中！
★上製本・B6判・約350頁
定価1800円(税込)

●編者のご注文は 発行所 新ハイキング社 振替東京1-140915
送料当社負担 東京都北区滝野川7-6-13 電(33)3915-8110

野外塾

●お月見と秋の七草

関西アウトドアスクール

講師 松永 志一

寂しくなったね……と話しているうちにちよつとさみし気な秋の風が渡り始めました。秋の訪れはほんとに気づかぬうちにやってきました。

① 萩の土の 萩のそよ風に 来る秋は
 ② 主役はやっぱり月日だわん
 ③ 萩の土の萩のそよ風に 来る秋は
 ④ 田畑の初物や果物を供えたらできあがり
 ⑤ そして遊にすすきや秋草を生け
 ⑥ 中国の友人 張紅海氏より「中秋節の思い出」と題した一文が先日届きました。

お月見

お月見はいつもあつてもあまり好きではありません。月餅も好きとは言えません。子供の時、中秋節になると、母さんがいつも私に月餅をくれましたが、私がいづつも断わり

かすが野に 押してつきの ほかからか
 あきのゆふべと なりにけるかも
 『田舎新聞』全第八一
 この春日野には明るく輝く月が昇ってきた。まさに爽やかな秋の夕べになった。
 9月30日は旧暦では8月15日。中秋の名月。かぐや姫が月に帰った日。夜空に照り映える月を見ながらちよつとロマンチックなお月見はいかが？

中国は唐の時代に中秋節といつて名月を鑑賞する習慣があり、この時にケーキの交換をしました。このケーキが、そうです、「月餅」です。この習慣が遣唐使によって日本に伝わり

ました。でもお月見が民間で盛んに行われるようになったのは江戸時代になってからです。

正しいお月見の仕方
 ① まず、小さな机を縁側に置いて、
 ② 主役はやっぱり月日だわん
 ③ 萩の土の萩のそよ風に 来る秋は
 ④ 田畑の初物や果物を供えたらできあがり
 ⑤ そして遊にすすきや秋草を生け
 ⑥ 中国の友人 張紅海氏より「中秋節の思い出」と題した一文が先日届きました。

「中秋節」には公園や、天安門広場や、故宮博物院のような名所等は、どこでも人で溢れます。私も家族を連れて、中山公園へ遊びに行きます。仲秋の景色を見るよりも、人の群れを見ると言ったほうがいいと思います。

私が幼稚園の時、ある中秋節の晩、幼稚園の窓から夜空を眺めると、生まれて初めて見た一番大きいお月のお月さん、それにとても美しい朱色の光が輝いて上つてきた様子は当時の私を驚かせて、幼い心に残った深い印象は三十何年経っても、未だ昨日見たような気がします。

私は甘いものもおやつもあまり好きではありません。月餅も好きとは言えません。子供の時、中秋節になると、母さんがいつも私に月餅をくれましたが、私がいづつも断わり

ました。静け深い母さんの心を損なつたかも知れません。今自分自身が父親になつて、母さんの感情もよく理解できたと思ひました。もし可能なら、もう一度母さんの手から月餅を貰いたいです。母さんがもう亡くなりなりました。

中秋節は開業の日ですが、私にとってあまり重視しません。私が16歳の頃、農村へいってから、中秋節は殆ど一人過します。年月につれて、家族と一緒にその日を送りたいなつてきました。

雲かしく過ぎ去る中秋節
 憧れる未来の中秋節
 註 仲秋は八月 中秋は八月十五日

秋の七草
 山上田原良 秋の野の花を詠む歌二百
 秋の野に 咲きたる花を 指折り
 かき散れば 七種の花
 萩の花 尾花 葛の花 などしこの花
 女郎花 また藤袴 朝顔の花
 『万葉集』巻八、1177-1183 山上田原良
 秋の野に咲いている花を、指折り数えてみると、七種の花がある。

萩の花 尾花 葛の花 などしこの花、おみなえし、それから藤袴、朝顔の花

と秋の七草を詠んでいます。ハギ、ススキ、クス、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、そして最後のアナガオはキキョウのことだといわれています。

萩、小野畑という人が男山(京都府八幡市)に住んでいました。京に住む女と深い契りを結んだのですが、いつしか頼山の心は変わり、つれなくされた女は八幡の川に身を投げる。ぬき足で穿たれた衣が朽ちた後に咲いたのが女郎花だという。この花を見た頼山は自責の念にかられ、同じところに投身して果てる。今も八幡のこのころ、頼山家と女郎花塚はこんな二人を哀れみ供養する塚だ。

名にめでて、をれるばかりや 女郎花
 われ落ちにきと 人に詠るな
 『古今和歌集』巻四 秋歌二二二六 僧正海略
 「をみなへし」というお前の名にほれこんで折つただけだよ。女郎花

このわたしが頭落しちやつたと。人には語つてくれるな。
 時情をかきたて、多くの歌や物語を生んだ女郎花は、万葉集にある山上田原良の歌によって印象が深い。

童貞の歌に誘われて赤良へ、静けさの中、うっそうとした三層に囲まれた万葉植物園の女郎花は、小ぶりな趣があり、守られている

女のように見えた。時折り吹く風に、すうらりと伸びた葉がめらめら、いっせいに開いた粟粒のような黄色い小花は、ヒョウモンチョウが舞う。決して華やかとはいえない女郎花に目を止めて愛で、深い思いを歌に託した古代びとの心を忘れぬでおきたい。

オミナエシ (オミナエシ科)
 花ごとば (葉人)
 山や野原や丘陵地など日本全土に分布する多年草。草丈60〜150センチ。8〜10月、多数の小さくて黄色い花がたまたま咲く。昔から秋の七草に数えられ、親しまれてきた。オミナは「女」、エシは「飯」がなまった言葉といわれ、粟粒のすうらな形から、「粟花」ともいう。葉が太く花が白いオトコエシは「米花」とも呼んで、それぞれ「女郎花」「男郎花」の字が当てられている。

先日美しい月夜に誘われて、やさしい秋の七草に出会いました。
 コスモス、菫花、ほととぎす、尾花、みぞそば、つりふねささ、水引
 夏の渡れが出やすい頃です。
 健康に気をつけて、
 爽やかな秋をおかえりしよう。

スズメバチに襲われた

ひやくり 百里ヶ岳

内田嘉弘

若狭

百里ヶ岳にどうしても登りたいという家内、小入谷峠から百里ヶ岳へ新しい道が出来たという話を聞いてから、この道を通ってみたい気持ちが私にあったので、宇治の石村さんも誘って出掛けた。国道367号線を北上し、梅ノ木から久多川沿いに川合まで行き、針細川を通り、古野の藤田信君の百里小屋に寄ると、本人と中野善雄夫妻、深尾善樹君が居た。百里ヶ岳への新しい道を通ると、「小入谷峠(510m)から北へ延びる尾根に付いているよ。」と5万分の1地形図「熊川」を取り出して教えてくれた。

抜け去り、天気は良かったが、風が無いので少し暑い。しかし、木陰に入るとひんやりとしているからもう山は秋である。右側が開けた地蔵谷峠(679.1・5m)の尖ったピークが目を引き、その背後に比良連峰の武奈ヶ岳から蓬萊山が望め、「ビィーイン」(「ゲイイン」と尻上がり)の鹿の鳴き声が、谷を隔てて聞こえてくる。紫色のヤマハツカ、リンドウの花やツルタケ、アミタケのキノコ類を足元に見ながら、5、6個のコブを越え、右奥に百里ヶ岳の山頂が見える805m以上のピーク。これを下り、登り直すと根来峠から来る道と合流した。一息入れて右にとると、大谷からの登りと合す。道筋に熊の糞がよく見かけられ、ヤマボウシの実があちこちに落ち



百里ヶ岳山頂にて

ている。その中を一旦下り、少しの急坂を登りきると百里ヶ岳(931.3m)山頂であった。

東に少し展望が開け、西側に駒ヶ岳、今津町の武奈ヶ岳から三重県、大御影山、三十三間山と続く山並み、その後ろに野家山、岩淵山、波野半島の西方ヶ岳が望め、日本海は目の前であった。頂上にあつたノートを繰ると、「1990年11月11日、おくやまのつとむ

田利一夫妻」1991年5月5日、藤堂原ちや子と知人の名前が出てくるのは嬉しい。昼食後、下りは根来峠峠山にした。昔の生活の匂いがして好きな峠の一つである。ここからの下りはツイン峠の青葙山や三國所、頭中山方面の山並みを眺めたり、足元にスツポンタケ、ナガエノシギタケを見つけた。芝薬を探ったりしながらの楽しい下りであったが、突然石段に刺されたような痛みが走った。右側に黄色い羽根の蝶々が見えた。ハチだ！私は思わず右手を叩き落とすようにしたが、その瞬間左膝の上も刺され、もう一度右腕腹を刺された。



百里ヶ岳付近地図

「痛い/痛い！」

私が叫ぶと、前を歩いていた二人が振り返り、「ハチヤノハチヤノ！」

と叫びながら逃げ出した。少し走り下ると、ハチはもう追いかけて来なかった。刺された痕は赤く腫れ始め、痛い。私の頭上と背後に数匹のハチが飛んでいた、と二人は言う。家内に刺されたところを口で少し毒を吸い出して貰い、痛みを堪え、そのまま下り、小入谷峠へ車を取りに行き帰宅した。翌日に虫さされ・かゆみ用の軟膏を塗ったが、翌日にとても患部に熱があつて痛みも残り、腫れが広がり、一日中足を引きずっていた。三日目できるようやく腫れが引き始めたが、少し熱のある痛みが残った。

私を刺したハチについて調べてみると、それはオオスズメバチのようだ。

「オオスズメバチになると大変です。毒はセトロンやヒスタミンなど、痛みの成分とともに心臓の鼓動を激しくする成分のカクテルで、早く毒がまわる仕掛けです。またアミン系統の成分は人によっては強いアレルギー反応を引き起こします。抗ヒスタミン剤の点滴が必要です。野外で出くわしたら、もう虫長類のメンツを捨てて地面にひれ伏し、定位飛行され期首が近付いても、ひたすら右にな

るはかありません。」(京都府の昆虫(京極)昆虫研究会とある。しかし、昆虫専門の某先生に尋ねると「ひれ伏してもダメ、たまた逃げ出す以外はなし。」と答われる。また、1991年10月号の「山と溪谷」に、「クマに襲われ1人が死ぬ」ということが、たとえばハチ類に刺されて全国で毎年40人以上が死亡しているという事実と同等以上に扱われ、「と載っている。このようにハチの被害も多いから注意を要する。」

それにしても、スズメバチに襲われたのは私だけで、前を歩いていた二人は襲われなかった。私が最後尾を歩いていたからか、それとも口頃の行いが悪いからであろうか。 (平成3年9月29日歩く)

ハコイスタイムV小入谷峠(1時間10分) 805m(1時間) 百里ヶ岳(45分) 根来峠(45分) 小入谷 (地形図) 5万1千1古里 2万5千1古里



兵庫東第二の高峰と修験行場の山

三室山と後山

酒井賢治

播但

三室高原より三室山を望む



6月下旬1泊2日で氷の山に登った。前日の午後修験伏口に入った私は、高丸山から鉢伏山へのハイキングを楽しみ、その夜は徳定の民宿に泊まった。次の日は、氷の山越えよりユシキ岩へ立ち寄り、氷の山の山頂に立つたが、素晴らしい快晴で360度の大展望が得られた。そんな展望の中、南方向に重畳と続く山並みの向こうに、一際高く頭を擡げている三室山が目にとまった。

氷の山に次いで兵庫東第二の高峰、秋に上って今が天路の三室山。この次は是非あの山に後らねばと誓い立つた。山からの展望は次から次へと私を未知の山々に誘い込む。全くさきがない。「同じに登るなら近くの山も」と三室山と後山の二山に登ることにした。

9月中旬の金曜日、大倉駅東口前7時30分発の中国自動車道の路線バス津山行きに乗車。めずらしく大阪市内の渋滞もなく、スムーズに高志道路に入り、快適なバス旅を楽しんだ。車窓から見える登頂した兵庫の山々、六甲の東山・北嶽の独立山群・笠形山・七種山・雲霧山・明神山・黒尾山などを確認しながらバスは定刻より5分遅れで山崎インターバス停に到着。ここから徒歩バス・山崎バスセンターまで約10分歩き、10時発の三種行きに乗車。車内は地元のお年寄りが4、5名程度。

ここまでくると三葉のアクセントが大阪とは少し違うようだ。バスは山崎の町から中国自動車道に沿って走るが、橋根あたりから北に向きを変え三重谷峠を越して南赤町に入る

と、千種川に沿って山峡の道を進む。町は登攀の宣伝カーがバスに手を振っていた。やがて左に日名倉山、右にどっしりとした檜松山を見て10時50分千種の町に着いた。四方が山で囲まれた静かで小さな町だった。千種より更に奥へ西河内行きのバスもあるが、一日3本のダイヤでは利用価値が少くない。バス停から川に沿った幅広いバス道を北へ歩く。左手に笹石山が端正なピラミッド形で

聳えていた。今日登る後山は、笹石山から西へ盛り上がる尾根の最奥にある。左右の山脈が狭まると、左手には流を見て松の木フッキングセンターに滑いた。深淵約人の長さ狭い場、崖壁や木立もあり、登山基地としても好適だ。すぐ先で松の木橋を渡ると道は二分する。右は三室山、西河内方面へのバス道。後山へは左のコンクリート舗装の林道を沿って入り口に登山の案内板もある。林道は坂道を見送りに沿って緩やかに西へ登っている。

迎え行者の前を通り右岸(左)へ橋を渡り杉林の道を通く。前方、歩いて谷の奥に後山の頂部が高く見えている。ナメラ行場前



を過ぎ少しゆくと、林道は橋を渡り左岸S字状に大きく迂回し若深い道となる。再び溪と合するとところが林道終点で広場になっていた。ここに標識があり右岸山道に取り付く。疎林帯の山道を緩やかに登り、三の沢で左岸に渡る。あたりは行道らしくなり、昔を思わせる手塚。二の沢の細流を過ぎると宿坊跡の小腰で、女入宿跡や宿坊跡などがある。少し歩いて木崎の滝園についた。左右、三条の流が流れ落ち、中間の岩場に不動明王が祀られていた。ここから大橋を渡って左岸へ渡り岩場を登ると石の多い道となり、岩場を登り右小腰標識を境にみて坂道を登る。左下に溪を見て

さらに登ると小さなガレキ場を越して岩が埋まる湖谷に出た。標識に従い左の小さな谷に入る。上りきるとソーマン道がある。さらさらと細い水流が岩肌から落ちてくる。右へ高まると緩やかなユリ道となり少しくと標識がある。真つまぐは行道道、左へバック気味の道が一般道である。とりあえず左へ展望の良いさうな一般道を登ることにした。この道は、後山南部から笹石山へ下る長大な東尾根へのジグザグ道で急勾配の山肌は細いが、しっかりとした道がつけられていた。登るに従い背後の檜松山が迫り上がってくる。何回かジグザグを繰り返して、ようやく東尾根に辿り着いた。

クマ笹や滝木の幅広い尾根道を後山目指して登る。小さなピークを越すと緩い鞍部で、先細分かれた行道道が右から登ってきている。ここから後山へは後後のガンバリ。ブナの混じる滝木の道を少し登り、13時30分ちょうど山頂に着いた。

展望は南北の一部が樹木に遮られているが素晴らしい。北から東にかけては、近くカンカケ越(千草越)の鞍部を境に、左に三室山が、右に檜松山がどっしりと対峙し、その後ろに雲霧山・阿舎別山・一山、少し離れて、黒尾山などが明確に写った。さらに遠く水の



三笠山より後山を望む

倉山が頭を出し、通か途く瀬戸内海の小豆島や東艦のような形をした。姫路あたりの煙突の白い煙も双眼鏡での視界に入った。大岩からは標して明る山道となり、さらに高さを稼ぐと三笠山平頂部の南端に着く。ここも南方向が切り開かれ展望は良い。ここから平頂部の樹林の道歩き、最後に少し登って7時50分三笠山の山頂に到着した。

展望は南は樹林で遮られていたが他方向は良好である。東側は赤西谷の深い切れ込みの向こうに青木、赤西谷の頭たる1000m級の山々のピークと尾根が立ち並びその後ろに霧無山をはじめ、昨日見た湯田の奥山が望まれた。北側は三笠山北東尾根が大きくうねり戸倉峠の方向に下っている。そしてその向こうに高山・大陵・二の丸などの前衛峰を並べた主峰・水の山が大きな樹林を誇るかのように聳えていた。西側は頂上部を露にした神の山、東山、那岐山などが遠望できた。しかし、近くの山々の腹部につけられた幾本かの林道は人工的でいただけでない。朝食弁当と大展望の楽しみ。ゆつたりとした2時間ばかり、お山の大将は私一人だった。

10時前、山頂出発往路を下る。大岩で初分の大休止、最後の大展望を差し、残り針状の山肌を速くで猪だらうか野獣の鳴き声をき

いた。高層林道で今日初めて人に出会う。12時頂部入り口へ下山。ここから長い樹林林道を歩く。後ろを振り返ると三笠山が真つ青な空に高くよく見えていた。途中湯田に立ち寄りお社の修繕。河内川下流で汗をふき着替えをしたりして12時40分東河内バス停に到着。ひと気の無いバス停で冷たい角ビールとチーズラッパカーで軽食に代える。13時12分発祥バス山崎行きに乗車。千種の町を後にし途中の葛根バス停に14時すぎ到着。すぐ上を走る中国自動車道路線バスは15時15分発に乗り継いで16時30分頃大阪駅に到着。17時20日の後山、三笠山への山旅を終える。

(平成4年9月1日・12日歩く)

△コースタイム▽

千種(初分) 松の木橋(1時間) 不動滝(50分) 東尾根(20分) 後山山頂(1時間40分) 松の木橋(初分) 深瀬荘(初分) (15分) 三笠高原入口(初分) 三笠山山頂(1時間30分) 三笠山山頂(1時間) 登山口(初分) 高層入口(初分) 湯田内バス停

△地形▽

2万5千1千阜・西河内

△地図▽

昭文社「50水の山」

△備忘

三笠フィッシングセンター 瀬尾庄

07097612082 (木曜定休)

山・須留ヶ峰・段ヶ峰・現時山・雲岳山など種々の名だたる山々を殆んどすべて見渡すことができた。西は近くは樹林に覆われた船木山から鍋ヶ谷山、さらに林の彼に覆われた駒の尾山への連続が続き、遠く雲を被った那岐山がかすんで見えた。南の百名倉山は西側一部が見えるが、中腹で自然公園が開発されているため樹林が伐採され、無残な地肌をみせていた。自然公園とはいえ、山好きにはあまりたたくない開発だ。

14時40分、後山を出発。先程の鞍部から左へ行者道を下る。しかしこの頃、下るに従い急峻になり、熊コロビ、大根、格子岩などの懸崖は下れたものの、小岩より股間の懸崖は鎖やロープも無く立往生した。股間の左に滑った草付きの斜面を谷に下ろうと試みたが、危険を感じたので無理をせず元の尾根鞍部まで引き返すことにした。再び急峻な懸崖を登り返す。この間、高層差約100m、時間にして約50分程ロスしてしまっ。尾根鞍部に戻った時はさすがにホッとした。読者も後山登山に際してはこのコースは避けられるが良い。多人数の場合、落石の危険もある。

小休後15時40分、鞍部出発。真つ直ぐ一般道を下山する。往路を引き返すほど気分的に楽なことではない。17時10分無事松の木橋に下山

ここで午前とは逆に左へバス道を歩く。途中、西側内の人の小型トラックに接触させていた大きな後山・三笠フィッシングセンター「深瀬荘」まで送っていただく。地元の人には親切だ。夕食は焼もの、天ぷら、煮りなどイブナやアマゴづくしだった。

次の日、午前5時半湯田山頂へ。今日も快晴だ。前方に湧き上がるガスで車上部を隠した三笠山が見えている。15分程で三笠高原入り口につき、ここで袖裂の林道と分かれ右へキャンピング場の地道をゆく。ロッジや共同炊事場などたくさん建物がある。建てられていて、キャンピング場を過ぎると道は木立ちの中の道となる。左にグラウンドを見てなおも進むと管理棟からの林道に出た。小石の多い緩やかな林道を登ってゆくと、やがて右から河内川の瀬音をきくようになる。途中、左へ小さなS字カーブを自覚し、直進すれば勾配もきつくなり三笠山登山口に到着。左に水源地貯水池がある。

登山口から山道になり、杉や松の薄暗い樹林帯をゆく。右から枝が近づき丸太橋を渡る。薄暗い道に登るとすぐ上部で二カ所流れを越す。ここが最後の水場でもボリタンクに水を満す。ここから左へ緩やかに樹林の中を登ると、すぐ左から明確な山道(昭文社

版エリアマップで紹介されている大通林道からのみずみずしい新道)と合流し、右へ折れると後は三笠山まで直線一本道。ここからはほぼ電車型のジグザグ道で高層を登る。登るに従い木立ちの間から南方の展望が開ける。後山と植松山から誕生した幾本かの尾根がなだらかなV字を作り千種の町が遠く前もやにかすんで見えた。

ジグザグが終わると、道は南から西へ廻り込むようになり、展望もなくなり、深い樹間を登る。背丈以上もある苔のついた大岩の間を通り抜けたら、鎖やロープのかかる小さな岩場を越すと、やがて道は三笠山頂部中腹に張り出した大きな岩塊の下部に出る。樹林の多い岩をうごばかり登って大岩の上に出て素晴らしい展望に思わず歓声をあげた。眼下には三笠山南面と百名倉山の山肌が輝り針状に落ち込み湯田を流す。三笠高原の樹林帯に繋がっている。

正面に対峙する後山は、龍石山と手前より2mのピークに下る二本の長大な尾根を張り出し依然と座している。一歩、昨日はあの尾根の間を登ったんだ」と感慨に耽ける。向かいの植松山もどっしりと横たえ、双頂部の樹林が朝の光を受け白く輝いて見えた。龍石山へ下る尾根の向こうには三つのピークをもつ百名

硫黄岳

九州薩摩島の南方海上に三島村がある。竹島、硫黄島、黒島、それぞれの島に一等三角点の山があり、その一つの硫黄岳は今も噴煙を上げています。

硫黄島はその昔、僧俊寛が平家討伐の戦い事に敗れ流刑された島で、黒島ヶ島と言われた。聞くからに恐ろしそうな島である。鹿児島港を出た船が最初の竹島に近づくと、右半海上に巨大な火山島が姿を現す。船が次の硫黄島に近づくと、その荒々しい焼けたい山肌の所々から噴煙が吹き出している。こんな山に似たして登れるのだろうか、と身震いを覚えた。

島を半周して源泉で赤茶けた硫黄島港に入ると、民宿で「山に登るのなら登山会社の登山

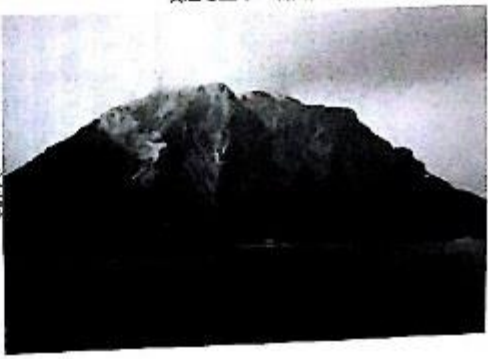
山形歳之

九州

アに乗せて貰ったさ」と言われて、登山会社の南島パールに行くこと、「ああいいですよ、明日にでも来なさい」と嶺の所長は気軽に引き受けてくれた。

ところが翌日は佳気正の接近で雨、山に登れないので島の観光をする。名と違って山以外は何やかやで、いろいろな遊歩がある。壺の浦で平家一門と共に、入水自殺したはずの安德天皇が、この地に落ち延びて大舟を全うし、子々孫々繁栄して、平家の人達と共に暮らした松の大木に覆われた墓地に静かに眠っていた。僧俊寛の墓を尋ねてみる。竹藪の中の苔むした道を降りて行くと、水のない小川の前とりに世で耳いた小さなお墓があった。扉を開けて見ると、中には髪を被った海札が散らば

噴煙を上げる硫黄岳



っていただけ、不意の間に人者が驚いたヤモリが数匹逃げまどっていた。島にはその他にも平家の墓等が各所にあり、又広い積層では沢山の穴が成り、伊豆の大島からも買ってくるこのことである。

ヤマハがリゾート開発をした時に放した孔雀が野生化していて、松の木に十数羽も止まっている、日本とは思えない光景だ。孔雀は案外慣れている、民宿の庭でパンを食べて

いたり、楕圓や畑を徘徊している。開発センターにも20羽くらいが飼育されていた。

港を見下ろす岬は悪人師と名付けられ、ここから見る硫黄岳は給はがきのような素晴らしいしき、赤茶けた山腹の所々から噴煙を上げ、山頂は霧と煙に包まれていた。

島には霧と煙の靈々風がある。北海岸の坂本温泉は入れそうになかったが、南海岸にある東温泉はログハウスが建ち、海岸の岩礁に浴槽が作られていて、バルブを開けて湯を入れる。熱湯だから開放しておく熱くて入れなくなる。少し荒れた大海を眺めながら、一人海に浸かっていると、ヒシヒシと砂境に



いる思いが身に滲みってきた。

私が訪ねたのは1月だったが、翌15日は初日、天気も良く、山は姿を見せなかった。島では小正月の行事で厄払いのお祭りがあり、その年厄年の人が厄払いのために、村人に金を集めるという。その一つとして神社でお金が集められる。村から老若男女の村人がソロンゴと、山道を歩いて薩摩岳近くの神社に集まって来る。神社では厄年の家族が村人に酒肴を振る舞う。村人にはない私とて例外でなく、厄払いですからと酒肴を勧められる。年によって厄の人の数が違い、全くない年もあるが、本人が不在でも家族の人がするということである。ちくも家族の林が起ってくるので、結構酔いが廻ってしまふ。皆がいい気分になったところで、お金が集められる。島民は、700人位らしいが、今年には1200人位の人々が集まっていた。厄年の人の掲げた袋は便袋でスツンリと張らんできて、先ず神社に一投してから村人の頭上にバラバラと投げ出した。100円、50円、10円、1円の硬貨がアメ玉も落ちて頭上から降ってくる。村民ではない私は遠慮して湖でカメラを向けていたが、次々に落ちてくるので、何枚か半にした。何とも羨ましい光景であった。

後で聞いた話では、一人当たり10万円近くも

撤くそうで、今年には3人、1000人の村人が拾うとして、単純に計算しても、一人につき30000円くらいになる。お金が頭に当たって揺ると無でもいる女の人や、顔にお金の跡がついていた人もある。嫌々方も、あいつ厚がましく浴びているな、とその人がかけて撒くんだと大笑いであつた。その夜は又大雪で、厄年の家では村の全員、約70家族の人を家に招待する。そこでは料理を出し、二日札まで徹いて集まる。村人の方も厄年の家を全部廻らねばならない。ある年には厄の人が多くて、幾つもの折り詰めを買い、罽のかマポコなどが沢山あまり、各家が買っているのだからあげるところとなく、折から入港してきた船員に配って起った、と笑い話をしていた。ここでは正月より小正月の方が賑やかである。

翌日も西は朝から霧が一杯。今日もだめだなあ、と思つて登山会社に行つてみると、登山が山に登っているとき。次の便に同乗してやつとのことで山上へ、ところがこの山道、狭い絶壁の急坂で、グルグル廻って行く。助手席の窓からは、道筋が見えなくて絶壁の下に海が覗いている。まるで体が空宙を振り回わされているようで、しばし車の座席にしがみついていた。所々、道端から霧気の吹き

本誌日本登山紀行でおなじみの
浅野 孝一君

定価一冊四〇〇円

尾瀬ものがたり

ミスバシロウやニワフウキスグ、ワタスグをヒ、根
原の花を見ようとする尾瀬には毎年50万人ものハイカー
が訪れる。
本書は登山の貴重な写真も添えて、尾瀬の歴史と
現状をおかりやすく解説し、目的別ハイキングコー
スも解説した。

新潮社

03-3266-5111

出ている所もあり、徒歩でも大変な道である。
「ここから登るのだが」と車から降ろされ
る。しかし降り立つと周囲にガスが舞い、行
く手を確かめるどころか目を閉じていられな
い。そのうちガスを吸い込んで喉が痛くなり、
もうその場に倒れることさえ困難になつてま
た。何とか次の車を見つけて急いで乗り込ん
だ。所長も「今日は駄目ですね」とても三角
点まで行けません」と。それにしてもよくこ
んな所で作業が出来たものだ。午後の船で島
を渡つて戻したが、幸が不幸かこの悪天候
で船が欠陥して、出港は明日になった。3、4
日に一便しかないのです。一便逃すと島にまう
る泊せねばならない。一夜明けて島に来てま
う日目の朝を迎えた。雲は多いが風も止み青空
も覗いている。山は雲から頭を出したり隠れ
たり。所長に頼むと「今日は行けるかもしれ
ない」とガスマスクとヘルメットを手渡され
た。所長の車に便乗して、登り口で降ろされ

た。「こちらの方」と指された所は白い蒸気
が吹き上っている。息をつめて煙を通り抜け
ると、一面真緑の斜面が続く。これも所々か
ら蒸気が噴出して、火口からも巨大な白
煙が立ち上がり、風にそよよいでのびよる。
風の隙間を見通して山頂へ。やがて朽ちた木
杭に囲まれた小さい三角点標石が見えてき
た。ガスに隠れて黒く光っている。ここが
火口壁の最高点で、風上の西海岸はガスも切
れ青々とした梅が広がっていた。
下山が又大変だ。一面、白いガスに包まれ
て方向が分らない。ガスの彼方から聞こえる
登山の機械の音を頼りに、白いガスの中をま
ちらこちらとさまよつて、やっとのこと車
道に出た。登りの時間を費やしていた。
山は天候次第で晴れていけば小学生でも
短時間で登れるとのことだが、私には大変な
山であった。

翌日、欠航で一日遅れた船に乗り込んで

次の黒島に向かった。
山はともかく、観察所は朝光の島としても、
一度は訪ねたい所である。島には4軒ばかり
の民宿があるが、収容人数が多くない上に、
絶えず工事の人達が長期に滞在していて、予
約無くしては泊まらない。船に乗るとき、民
宿を手約していない人は乗らないで下さい、
と言っていた。何しろ船は日帰りの便がない
ので、その日のうちには帰れない。
三島に行くには、飯見島港から3、4日に
一便、村世の船「みしま」が出発する。日程
は三島村役場か飯見島集大課事務所に問い合
わせるとよい。船旅や山登りは天候次第をの
で、日程は多めにしておかねばならない。
(平成5年1月中旬徒歩)
△コースタイム▽ 車道登り口(15分)飯見島
△地形図▽ 2万5千—陸路飯見島
△問い合わせ▽
飯見島集大課 0992(22) 3141

連載エッセイ

京都北山

ほんまのはなし (その6)

北川 裕久



第26話

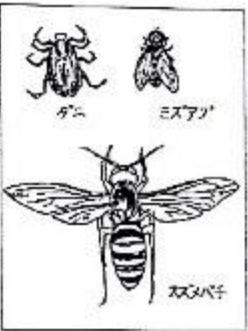
毒虫

自然の中には、いろいろな虫がいるが、中
でも山を歩く私達にとって厄介な虫は、一般
に毒虫と目われ、人間の体に何らかの危害を
加えるもの達である。

毎年5月から10月にかけて、たくさんの毒
虫が活発に活動するので当然虫に対する注意
も怠ってはいられない。
私は今まで何回となく毒虫に刺され痛い目
にあつたが、生半端にかかわるような毒虫に陥
らなかつたのはせめてもの救いである。その

中でも特に多いものといえば、やはりクマザ
サ等につくダニ類である。北山歩きにヤブコ
ゴは付きものだが、虫に対する対策を十分に
していても、衣類のすきまからもぐり込んで
くる。山から帰って風呂に入り、ふと首筋を
見ると赤黒い直径5、6mmの血豆状のものがで
きている。よく見るとダニの平たいお尻が覗
いていて、ナイフで引っかけ出したことは何
度もある。ダニの種類によっては、熱が出た
り、腫瘍が赤く腫れあがって痛む場合もある。
又、私はこんな経験もした。麻村八丁付近
の細い沢谷だつたと思うが、崖根からの下山
途中、谷筋の地盤が一歩崩れており、急斜面
になつていたので、草をつかみながら足場を
確かめていた。それは、ちよつと斜面のエグレ

た部分に手をかけた時だつた。何匹かのアブ
が草の下の空洞になつた場所から飛び出して
きた。
足場が悪いので手を放すこともできず、そ
のうらにつかんでいた草の生えている部分が
崩れ落ちた。するとどうだろう、中から無数の
アブが一斉に飛び出してきた。ブーン、ブ
ーンと頭を叩き止まる。汗の臭いや吐く息の
二酸化炭素に集まる習性があるらしく、チク
ツ、チクツとあちこち刺されたが、次第に刺
されても麻酔にかかつたように痛みが走らな
くなつた。右手を見ようとクランプ状にアブがた
かつていた。
足場を確かめて斜面から飛び降りた。尻も
ちをついて少し膝を打つたが、たいしたこと
はなかつた。右手を振り廻し、アブを払い落
したが、不意識と左手には一匹も止まらなかつ
た。首筋に刺しても、何んの感觸もない。
右手の甲は見る見るうちに腫れあがつてき
て、皮が二重にも三重にも腫らなつたように
感じた。谷川の水でタオルを冷やして、首筋や
右手に巻いたが、かなり熱をもつていてま
り効果はなかつたようだった。
音原町に止めて置いたマイカーへ戻つた時
には、手の甲は二倍くらいに腫れていた。帰
宅後、すぐに病院へ走り抗生物質の注射を1



北山の害虫

週回程行ら続けて治りはしたが、これがスズメバチだったと命はなかつたかもしれない。それから後も毛虫に刺されたりもしたが、なるとか無事に今まで毒虫の奇襲をかかわりながら、陽当たりの良い場所へ、雨や風があたらず、少し開けた場所には、必ずといってよいほど何か昆虫の巣がある。

アブの奇襲に通った谷の斜面のエグれた場所も、陽当たりが良く、雨風が透ける絶好の場所だった。

もう一つ、由良川絶頂上谷上直部の道から少し離れた杉の斜面にトチの老木があり、その根元付近の朽ちた部分に人間の頭を個々の大きなスズメバチの巣を尻つたとき、5分くらい離れていたにもかかわらず、身動きがとれなかった。トチの葉が黄色くなり始めていた9月下旬くらいだったろう。ス

ズメバチが一年中で一番暴走かつ奇襲に行動する時期なので、姿勢を低くして立ってすにゆっくりと引き返したこともあった。

初夏から晩秋にかけては、なるべく青色やオレンジ、赤や紫やかな色の服装は避けるべきである。これらはハチの好む色で、時には闘争心を掻き立てることもあるという。私もダンノ峠の下山途中、黄色い紐やかなヤッケを着ていたので、スズメバチの奇襲にあった。首にかけていたタオルを振り回し、一度は地面に叩きつけたものの、すぐに飛び去ってしまった。その後、仲間を連れて戻ってくるのではないかと、一目散に自動車まで走ったこともあった。

これからのシーズン、スズメバチ等の毒虫の奇襲には十分気を付けて頂きたいし、なるべく地味な色の服装が好ましいかと思う。

第27話

断念

結果から考えれば断念は良いことかもしれない。自分の計画を容赦なく断たれてしまうというよりも、自分自身の考えで計画をあきらめてしまおうと言うほうがよいかもしれない。

だが改めて思い直してみると、高枚時代から数えて八足目である。18年間で八足ということは一足を2年と3ヶ月で履き替えたことになる。

実際は、もつと長く使っている靴もあるが、一足に一足に思い出があり、枚数を岳の雲にラッセルを断念した時の靴、雨音峠で靴底がはがれ途方に暮れた時の靴、濡れた夜、両ひざを擦りかかえ一緒に眠った靴、苦しい思い出のほうがない靴には多い。

何百の行程を歩いたか分からないが、文句も言わず雨や露に濡れ、靴を支えながら歩いてくれた登山靴。

彼らはただ人間の足を守るためだけに作られてきたのではない。数々の楽しみや苦しさを共にし、又、人の感性をも豊かにしてくれ、履く人と一心同体である。彼らには魂は無いが、人間が使いこむことになってすばらしい生命が宿る。

今こうして山靴の話を書いて思うのだが、今まで使ってきた古い山靴は何も残っていない。残す必要もなかったが、今になって残しておけばよかったと思う。

若い頃には何も感じないが、年をとると昔の思い出に浸るようになってくる。ましてや北山は人々を感動的にする魔力がある。ノ

い。私は何度も北山の山中で計画を断念したことがある。それは自分が自身の未熟な面もあるが、人間として、生き物としての本能から身を守る手段があったのだと思う。

断念には三つくらい理由が考えられる。一つはコースタイムの大幅なロス、つまり計画のコースを時間内で歩けない場合。

二つめは、余剰な道筋に出くわし、後退を余儀なくされた場合。

三つめは、自分や同行者の怪我等で下山しなればならなくなった場合もある。

二つめの場合は仕方がないにせよ、何等かの理由で行くが戻るかの瀬戸際に立った時の判断は難しい。この先何があるかわからない計画を強行突破して来たとして成功するのか、こうなるとどうも箱に頭中には、断念して戻れ、というシグナルが点灯する。

私の今までの経験から断念の岐路に立った時、計画を強行して成功した例は30パーセントくらいだろうか。この数字から見てもわかるように、良い目をすることはほとんどない。例え、計画が実行できるたとしても、頭の中は不安で一杯だろうし、この先自ら危険な方向へ自分自身を導くようなものだ。

私は以前から強行突破することが多かった。その反動が数々のダメな結果を生み出した。

スタルジックな登山の中でセンチメンタリズムに浸るには、その要素は限りなくある。年をとってから古くかど臭い靴を出して、昔の北山を思い出出すのもいいと思う。

私も靴を捨てる時、阿波も残しておこうかと迷うが、結局捨てる。捨てる時にその靴の思い出が浮かび上がってくる。アイゼンや教めた跡やワカンバンドの跡がくっきりと残っている。

死んだ愛犬と別れるのと同じくらい悲しい時もあるが、その悲しみを断ち切る。もう使えぬものをいつまでも置いておいても仕方ないし……。なのでいつの間にか自分を捨てている。

ナイロン袋に山靴を入れ、ゴミと一緒に濡れた登山靴が濡れてしまうが、思い出だけは私の胸に残り、誰にも奪うことはできない。そしてまた新しい靴との出会いがある。

この項を書いて、私は山靴に対する考え方が変わった。靴も道具の一部であるが、登山者の身体の一部でもある。誰も自分の身体を剣を取り捨てるようなことにはしたくない。

いつまでも履き続けられる限り、手入れを怠らず大切に扱いたいと思う。そして、使えなくなってもそのまま捨てるに手入れをしな

た。前にも、この頃で書いたが、帰れなかった夜が何度もある。その度に家族には心配をかけてきた。いつしか帰れぬ夜も馴れっこになり、危険な場所にもさへ気がつけばタイムロスなど関係ないと思いはじめた。

人に言わせれば「たかが山歩き程度で生死の境目を決めるようなものか」とかどうかと思われ、山の中で計画を断念するとは、山歩きの原因の中で一番大切な心構えなのかもしれない。

断念する勇氣を持つことは、立派なハイカー・登山者の原動力だと思う。その点、私は恥かしいことだが、その勇氣を持つことができなかった。

一度ダメになっても二度、三度と同じ山へ出かければよい。自分で納得のいくまで通いつめればよい。北山はいつでもそんな私を迎えてくれるはずだ。

第28話

山靴を捨てる日

山歩きを始めて、今の靴は何足目だろうか？ 今までそんなことを考えてもみなかっ

山と高原地図シリーズ

定価 各700円(税込)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 北アルプス地図 | 34 飯綱山 |
| 2 白馬岳 | 35 妙日・出羽三山 |
| 3 霧島連峰・黒岳連峰 | 36 奥羽山 |
| 4 駒ヶ岳 | 37 奥王子山・奥三山 |
| 5 上高地・信濃高原 | 38 奥羽・早池峠 |
| 6 新穂高原 | 39 八幡平・早池峠 |
| 7 御蔵山 | 40 十和田湖・奥三山 |
| 8 中央・南アルプス地図 | 41 二十ヶヶ・早池峠 |
| 9 木曽駒・笠ヶ岳 | 42 大雪山・十勝岳 |
| 10 甲斐駒・北岳 | 43 白山 |
| 11 穂高・碓氷・御岳 | 44 磐前・伊吹・御嶽 |
| 12 妙高・戸尾 | 45 磐前・伊吹・御嶽 |
| 13 赤穂高原・草津 | 46 比叟山系 |
| 14 群峰・奥三山 | 47 奥都北山1 |
| 15 奥三山・奥三山 | 48 奥都北山2 |
| 16 奥三山・奥三山 | 49 奥都北山 |
| 17 八ヶ岳・奥三山 | 50 北都北山 |
| 18 奥三山・奥三山 | 51 六甲・奥都北山 |
| 19 奥三山 | 52 奥都北山・二上山 |
| 20 奥三山 | 53 奥都北山・奥三山 |
| 21 奥三山 | 54 奥都北山 |
| 22 奥三山 | 55 奥都北山 |
| 23 奥三山 | 56 奥都北山 |
| 24 奥三山 | 57 奥都北山・奥三山 |
| 25 奥三山 | 58 奥都北山 |
| 26 奥三山 | 59 奥都北山 |
| 27 奥三山 | 60 奥都北山 |
| 28 奥三山 | 61 奥都北山 |
| 29 奥三山 | 62 奥都北山 |
| 30 奥三山 | 63 奥都北山 |
| 31 奥三山 | 64 奥都北山 |
| 32 奥三山 | 65 奥都北山 |
| 33 奥三山 | 66 奥都北山 |

がら残しておけば、いつか半をとりつてその靴を手にした時、きつとなつかしい日々が蘇ってくるに違いない。

古い山靴は、思い出を一杯詰め込んだ貯金箱として、部屋の片隅にいつまでもしまっておきたい。



第29話

山が呼ぶ朝

午前5時、突然目が覚めた私は、押し入れの中からザックと登山靴を取り出し、ニッカースポンを着いて、一階の北の窓から北山を眺める。私の家は自然保護団体に近い所であるが、丁度、北山の杉野付近の紅白の鉄塔が真正面に見える。「今日は良い天気になるから早く来いよ」と山が呼んだような気がして、いそいそと出かける。ザックの中には、いつでも

出発できるようにと前もって備品が入れてある。あたかも消防署の緊急出動のように準備は早い。そして、恋人に逢うときのように心うきうきと宗廟を駆け上り向かう。

これは登山時代のこと、結婚をして子供が出来れば、そう簡単に一人で出動できない。山は呼ぶが、子供は呼ぶほど、なかなか思い通りにいかなくなってしまう。

こうなるとあらかじめ計画を立てることが必要となり、しばしば恋人を裏切るような気分になったが、今はうまうま山と家庭を両立させている。

山が呼ぶ日は家族揃って北山へドライブに

出かけたり、美山町の河原で水遊びをしたりと結構それはそれで楽しい。

山の中を歩けなくとも、上桂川の河原であるうと美山川の河原であるうと、府道法河原美山線のドライブコースであるうと、北山の山中に変わりはしない。それで一日みんなが山の気分を満喫できるなら、私一人の幸福より、四人で四倍の幸福であるほうが良いに決まっている。

今は今なりの生活をするしかないのだから、そのワクの中で子供達と一緒に真心にかえって精一杯楽しみたいと思う。

同じような環境の人も沢山おられると思う。子供の頃から山や川に親しんでいれば自然と山歩きが好きなになり、山の動物や昆虫、植物についても研究心が養われていくと思



ファミリーハイキング (八ヶ岳)

う。今の子供達の約半数が、休日には家の中などの屋内で過ごすといわれていて、これは大人にも責任があると思

思う。忙しいから、疲れているからと休日に家の中でゴロゴロしていると、子供もついで一箱になって家の中で遊ぶようになる。小学校の高学年ともなれば友達と一緒に出かけたいという気持ちが、幼児期から小学校低学年くらいまでは、一人ですごかへ行きたくても、そうはいかず、やはり親が子供を連れて出かけるということになる。

幼児期から山や自然に親しんでいる子供と家の中で過ごしてきた子供とは、小学校高学年頃になって、自然に対する考え方がまるっきり違ってくる。

小学校低学年では理科や社会科は生活科という科目に統合されている。低学年の内は自然や社会の成り行きを生活科の中に取り入れて、大まかに勉強させようという方針でこうなっているのだと思う。

ここまで書いてくればおわかりになるだろう。幼児期から少年期に一番大切なものは、英才教育でもない学習塾や音楽教室に通うことでもない。自然に親しむこと、これが一番大切だと私は思う。自然の中で人間の感性はどんどん磨き上げられていく。子供が大きくなって音楽家や画家になるかもしれない。又、スポーツ選手になるかもしれない。あるいは、ごく平凡なサラリーマンで生活するかも

もしれない。

自然は感性・体力・精神力とあらゆる人間の力を鍛えてくれる。これを大いに生かすことは素晴らしいと思う。まあ今からでも家族揃って山や川へ出かけてみてはどうだろうか。きつと素晴らしい何かが見つかるはずである。

第30話

北山歩きの行き詰まり

北山を歩くバグーンとして、最初は山馴れた人と懸け鐘や鈴が煩い、愛宕山の周辺から歩き始める。そして一年間ぐらいたまはると、自分の地図に歩いたコースを赤線できるとなる。そして二年目、三年目からは北へ北へと自分の歩いたコースは拡大されてゆく。バス利用の日帰りでは隣村八丁周辺が限界となるだろう。

四年目ともなると、ほとんど有名な山域は歩き尽くし、季節を変えたり、コースを組み変えたりと、いろいろなパリエーションで楽しむようになる。

ここまでくれば北山の魅力を70パーセントは堪能したことになるだろう。そして、この

昭文社

株式会社 昭文社
 本社 東京都千代田区九段北4-2-11
 電話03(3262)2141(代) 〒102
 支社 大阪市淀川区西中津8-11-23
 電話06(303)5721(代) 〒532
 営業所 札幌・仙台・横浜・千葉・福岡・立川
 名古屋・金沢・東京・広島・福岡



あたりから単独行をする人が増えてくる。自分なりのコースを考へて赤線の用刃部から計画を練り始める。
山頂上の赤線は、雲ヶ畑や霧ヶ峰の間

刃を完全に閉鎖してははずだ。
そして五年目。いよいよヤブ山へ突入することになる。ヤブ山を自指すようになると、もう北山の魅力に取りつかれている証明である。地図上の赤線は、道のない尾根や窪谷を埋めてゆく。やがて河内谷流域や由良川流域の山々に興味を持ち始め、若月国境や江若国境を突破すると、最初の頃よく歩いていた處ヶ峰や雲ヶ畑周辺、愛宕山周辺を全く歩かなくなってしまう。

その間に林道が開発され、峠は寸断されると、どんどん道の状態は変わってゆく。私も雲ヶ畑を随分歩かない間に、魚谷峠の裏側おりに足踏いた。祖父谷流域の林道にも突然と

角点を高い所にピククハンティングするとか、人それぞれにテーマが見つかると思う。テーマを次々と堪能してゆくと、いよいよ表裏である。北山歩きは行き詰まり、がやって

テーマもなく、ただブラブラと歩くことを嫌うようになり、コースの選択にいろいろ始める。ちようど女性が行く服を選び替えるのと同じような心境がしばしば訪れる。ここで私は次のようにこのいら立ちを解消している。

対処方法はいろいろあるが、まず北山の植物や昆虫、動物に興味を持つこと。それらの嫌いな人は、スケッチブックを持参して、自分なりのタツチで絵を描いてみる。どうだろうか。写真では味わえないステキなものが出来上がるはずだ。上手、下手は関係ない。自分なりのタツチ、これが肝心である。何枚も何枚も描いてゆくうちに、自分だけのコレクションとして描き続けるようになるだろう。小さなA4、B6サイズ、ハガキサイズの大きさを十分だろう。ニピツ描き、ペン描き、コロンパステル、水彩画、短時間で描けるものが多いと思ふ。北山をまた違う角度からじっくり見つめることで、新たに発見する楽しみがあるだろう。

登山に必要なものは、
国産・舶来
すべて揃っています。

足にピッタリ/
登山靴のことならお任せ下さい。

〒504 京都市中京区丸太町通堀川東入
☎ (075) 211-5768
FAX (075) 231-0318

山とスキーの専門店
京都 ムラカミ

また、山へオカリナやハーモニカなどの小さな楽器を持って行き、吹いてみるのも情緒感あふれてステキな世界が広がる。それが自作自演の曲で北山をテーマに作られたものなら最高だ。

その他にも山を違った味わいで楽しむ道具はいろいろある。北山歩きに行き詰まったら山歩きだけに拘らず遠く角屋から帰って帰って帰って帰って。山は、私達の能力を可能な限り引き出してくれるはずだ。どうかあなたの感性を北山の中で磨いてほしい。

京都北山 やぶ漕ぎ痛快山行記 (II)

麿村八丁 刑部谷から滝の谷(ソトバ峠)

台風22号が太平洋東海上に去り、雲一つない秋晴れの山行き日になる。
出町柳始発バス停はハイカーで混雑、比良方面の人が多く、梅の木行きは臨時便をだして出発。後の広河原行きに乗るのは我々20人と数名のハイカーのみ。途中停から乗車した仲間を加え25名の大所帯パーティ。こんな快晴の日に他のパーティが少ないのはめずらしい。全員皆で府道沿河原美山線を快調に走る。定期通り広河原の世原橋に到着。橋上でリーダーの挨拶、ゲストがおられ個人紹介のあと10時前に出発。

右のホトケ谷林道を進む。霧集の一軒家を通ると田畑もきれ、ススキ・麗花の地蔵林道は秋だけなわのルンルン道。カラフルな姿のKRG 25人の列のみ。冠水の林道を渡り、杉橋林下の林道をホトケ谷と離れる分岐へ進む。林道は右奥にのびるが、今日は古くからの支路林道をとる。
左のササ藪の取り付き口が判然としませんが、リーダーの旗で灌木や小枝を払い突入路を確保しルートに突る。青文程の小枝が邪魔する踏み跡道がハッキリして高さを稼いで、汗もかかず支路林道頂上へ来る。後方をみると小野村別荘からフカンド山の稜線が一望、遙かに比良の武家、釣堀の集が顔を出す。

ソトバ峠より城丹国境風根を望む



この路線は樹林下、小径の山道もやがて先ほどの林道から進む各道と合する新道まで下りる。ここから植生15年程の杉林のジグザグ道の登りになる。座も利用するのか我が所々に転がる。大きく右に回り登るとケンノ峠に飛び出る。
田原の灌木が背丈以上になり、眺めの良かったと推察された昔の時の姿はない。風化木の巨木も崩れ落ち、今は、僅かに葉谷山の麓

峰が見える峠のたすまい。峠のカツラ谷を降りて休憩。お昼の味噌汁の具にと味噌スギヒラタケを煮むお姉さんたちの姿も頼もしい風景。

峠からカツラ谷沿いの道を下る。以前は根曲がり竹で通せんぼした道も幅広く刈られて歩きやすくなった。所村八丁への入気が上がった証拠だ。

チシャノキ谷を左に見送り同大新心若小屋の横に着く。お馴染みのモミの巨木、それにサルのコシカケが無数に燃え、大きくなっているが高所のため採集はできない。いずれこのモミの巨木もサルのコシカケ類のため朽ちはたて倒れるであろう。

四郎五郎峠への道を右に見送り、今日は閉部の温泉跡に行くため、奈良谷の乗り越しへのトラバース道、左の根曲がり竹の切り開きの道路に入る。5分程で赤り越し広場に出る。カツラ谷をへだてて四郎五郎峠の独立岩が等高線に見える。ここから奈良谷への急降下のつづれ折れ道。昔はシヤクナゲの名所である。ハンゴもかかり慎重に降りる。左からの深淵奈良谷に降り着く。こここの水の美味しいことは市販「六甲の水」の比ではない。土壌のミネラル、樹々のエキスの混じった味は格別の軟水、皆さん盛んに飲まれる。

この先で前部谷と合流、右奥に閉部の滝が大きな水を落とす。落差20m、く字型に見える瀑布で黄葉、紅葉の中の景観に初にお目にかかる方々「ホウホウ」の感嘆の声。

四郎五郎峠の台渡手前のハンゴ橋脇が朽ちて危険箇所、架けられたから15年経っているが、人があまらぬコースだけに修復されないまま。リーゲイが安全確保のため高さ差を埋めてうまく通れるアルバイト。四郎五郎谷合流の大岩のヘツリから左下への道、岩壁びく下崖、左岸とスリルある渡渉を繰り返して、スモモ谷合流直上の杉樹林下の平坦広場（八丁村家屋跡）に着く。

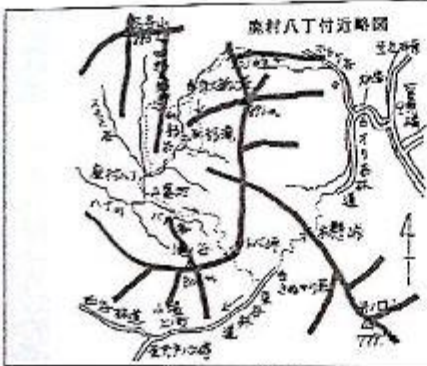
時間もお昼時、ここを弁当場にと薪草刈り作業。「現在12時だから15時半出発予定」とリーゲイから昼食時間の指示あり。

飲み取ったスギヒラタケ味噌汁にかかる方、野菜サラダを用意する方、ポルドワインの後あけに苦勞する方、お姉さん方ご自慢のお惣菜が広げられる。アツという間にKKG懇親会席が出来上がる。天高く馬肥ゆる秋、空気が美味いし、最高の山の饗宴。1時間半のお昼弁当時間もアツという間に過ぎ、先の行程もある事ゆるぎ定通り出発。

スモモ谷合流の広場にあった八丁名物の白壁土蔵も朽ち果て跡形もない。全村離村して

50年、半世紀の時がたつ。トクシ三角峠小屋も使用に堪えない崩壊、異様な形跡物と残骸を残すが、元の建造主はニレの山荘業部とか京大高分子科ラボとか聞いているが何とかならないのか。八丁山にかかる元分教場跡の学校舎を渡り、村の長神八幡さんの下を通り作業小屋前だ。ここも最近では使用されず荒れたまま。左岸の墓地も春秋の彼岸会、お昼のお参りもないのか。わらわ、いづれ無縁墓地になるだろう。これが所村八丁の真の姿だ。八丁村は開削を山に開かれた谷間で、東へはトクシ峠、北へはシナクニ峠、南へはワトバ峠、西へはトラゴン峠越えと不便な地形。昭和9年の豪雪で連続不慮となり僅かな戸数でパニック状態。離村を決意したのも無理のないことだ。

八丁山と分かれカツラ谷沿いにワトバ峠の登りにかかる。紅、黄葉の酒、樽、瓶などの混在雑木林が目前に広がる。峠に登り着く。眼前は18m度展開、石仏峠から茶行峠まで城背國境線跡の尾根が広がる。峠からも右馬鹿の社（別名ワトバ山、衣笠山）からワトバ等三角峠まで急登を登る。右の低崖の急登が取り付き、しばらくし傾木や小枝の支那樹路も跡もナラ林のカーブ状の尾になると道もはつきりして緩い登りで頂上に着く。12年前に行



けた。火の用心ゴミ始末点名のプレートが壁に残っていた。展望は周囲が雑木林で不可、測量切り開きから小堀の方ラニキ（676m）の三角点座がちょっと見えるだけ。今日初めての方が多いため記念撮影をし元の道を峠まで降りる。この道の合三角点への往復時間は30分みておけばよい。トクシ峠からワトバ峠への背接線は分水嶺で、八丁山は佐々川川になり、由良川となって日本海に流れる。

菅原の仏谷川、小堀川は大堀川となり保津川桂川、流川となって大阪湾に注ぐ。

峠からジグザグの下り道も長く踏まれ、砂防壁下を右の山側にへツリ降りすると小堀の東谷林道に降り着く。普通ならここからJRバス停小堀上ノ町か井戸まで林道歩きをするが、今日は井戸の知人の車で、JR岡山バス停まで参加者全員をピストン運行で送ってもらう。最終回の車に乗る頃は所山街道山間部はとっぷりと暗闇につつまれ、釣懸吊としての秋の山行きの懐かしさを知る季節となった。これからは懐中電灯かヘッドランプかを忘れずに携帯すべきだ。

平成4年10月14日歩き

△参考タイム▽ (休憩、食事タイムを含む)
 菅原橋渡9・40・トクシ峠10・30・奈良谷11・30
 スモモ谷合流12・00 (食事) 13・30
 トクシ峠14・40 (三角点往復) 15・20
 小堀東谷林道15・30 (ここよりチャーター車でJRバス岡山停へ)・JRバス便は午後、井戸橋乗車17・30と18・40の二本だけ

(後編) 2万5千—中—上行程
 昭文社「杉原北山2」
 白銀 出口 恵之

【この花への道】

キキヨウ (Lilium x 3 hybrid) (花は黄色)

キキヨウ (Lilium x 3 hybrid) (花は黄色)

秋の野に咲きたる花を雨前
 力をぬかれ七輪の花
 砂の花 花 花 花
 をめつれし またはめつれし花

(万葉集巻八・山上 贈鳥)

先達でも読れたよ(この月夜の詩は林の
 のことを「あさか」よ申しました。
 井ノ口は「神懸る鳥」の丁次郎の歌
 されている。古ノカノの原歌です。

【この花への道】

キキヨウ (Lilium x 3 hybrid) (花は黄色)

キキヨウ (Lilium x 3 hybrid) (花は黄色)

秋の野に咲きたる花を雨前
 力をぬかれ七輪の花
 砂の花 花 花 花
 をめつれし またはめつれし花

秋風吹く生駒山

松永恵一

秋の使い
ほおをなでる風が心地よい。秋の訪れを真
つ先に知らせるのは、風のかすかな変化。
晩夏から初秋へ移りゆくときを「五更虫」
は実に細やかに表現している。
巻二夏歌のしんがりの歌
六月のつごもりの日よめる
夏と秋と 行きかよ空の かよひ路は
かたへすずしき 風やふくらむ
―168― 丹波内船尾

六月最後の日 六月三十日に詠んだ歌
去って行く夏と、やって来る秋とがすれち
がう空の道路では、秋の通る片側に涼しい秋
風が吹いていることだろうか。
巻四秋歌・上の冒頭の歌
秋立つ日よめる

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
風のおとにぞ おどろかれぬる
―169― 藤原兼行
立秋の日、七月一日に詠んだ歌
立秋の日になつても秋が来てしまつてい
ると、目にははっきりと見えなくても、耳
にする風の音に「もう秋だ」と自然はつと氣
がついてしまふ。
一陣の風が吹き抜けて、目に見えない風が、
目に見えない秋という季節を運んできた。
吹く風の温度、向き、強さなど、その微妙
な違いを、古人は繊細に感じ分けていたよ
うだ。
流れる秋風が汗ばんだ身体に心地よい。
秋の草花が一面に咲き誇る中で、さすがが
しい空気を深く吸い込もう。



生駒山 (『大日本管轄分地図』)

大阪平野の東端に生駒山 (582.4m) がある。西側に急、東側にゆるやかな斜面を
向けた箱形地塊の山脈は、大和と河内との國
境を南北に走る。ところどころに巨岩が崖頭
をつくり、古くより岩場宿禰の嶺として知ら
れる。山頂からは大阪平野を一望のもとにお
さめることができ、家道が山麓から山腹にか
けて、せり上がっていくのが手にとるよう

眺められる。山頂部には生駒山上遊園地が
あり、春は桜、夏は納涼、秋は紅葉の名所。
生駒山の名の由来について、こんな話が残
る。昔々、朝鮮半島の国からたくさんの馬が
献上されてきた。長い船旅に疲れ、我関に着
いた時は、いずれの馬も元気がなく、何時死
ぬかも知れない有様だった。とにかく、牧草
の多い広々とした所へ放してやることにな
り、これらの馬を河内山へ放してやった。広
い野原に放たれ、新鮮な牧草を食べた馬は、
次第に快復し、山野を駆け回るようになった。
時の帝はこのほお喜びになり、駒が生き
返った山だということで、この山の名を生駒山
と名付けられた。(松本社説書「伝説の河内」)

大阪側の山麓の地名が、河内から生駒山を
越えて大和へ入ろうとした神武天皇の神懸に
残る。説述に「河内から古代河内郡を渡り、河内国
草香郡の首領白眉津に船をつけた。大和國
トミの住人長瀬が孔舎衛太子をおこして
迎え撃つ。船より橋を取って、おり立ち渡り。
そこでその土地を橋津という。流れ矢が五瀬
命の経路に中つた。「われは日の神の御子。日
に向かつて渡つのはよくない。今から廻つて
行つて、日を背に負うて敵を撃つてくれよう
ぞ」。船野へ向かう途中、血を流したのが茶臼
の海(大阪湾)と記述は伝える。

雄略天皇の精神
大興谷若連・命・雄略天皇は、大日下の
王の孫、若日下、部の王を娶たなされた。
皇孫様がまた河内の日下においでなつた
時、天皇は日下の直越の道を通つておいでに
なつた。山の上から眺めると、屋敷に堅魚木
をあけた、皇居のような立派な家があつた。
「あの家はなにももの家か」
「志氣の大泉主の家でございます」
「あいつめ、臣下の分際で、おのれの家を皇
居に似せて作りおつたか」
と怒り、その家を焼き払うように命じた。
大泉主は、おそれかしこみ、謝罪し、白い
犬に布をかけ鈴をつけて献上した。
天皇は若日下部の王のもとに行つて、大を
贈つて言つた。「これは今日の道中で得た珍し
い物だ。結納のしるしにまで」
「日の御子が日を背うてお出でになつたと
は、誠に恐れおほい。私の方から直ちに大和
の宮に参上り、お仕え申しませう」
天皇がお帰りになる時、歌われた歌
日下部の ちちの山と
たたみこも 山群の山の
こちこちの 山の嶽に
立ち栄ゆる 奉広穂白穂
本には いくみ竹生ひ

末辺には たしみ竹生ひ
いくみ竹 いくみは穂す
たしみ竹 たしかには穂す
後もくみ覆む その思ひ姿 あはれ
日下部のこちらの山と、かなたの山群の山と、
あちこちの山の谷あいには、榮えしげる葉の広
い樹の大木、それのみか、この山の下には竹
がこんもり茂り、向こうの山の上にははしつか
かりと寝かせぬが、やがてはともに寝よつや
わがいとしい妻よ。(『古事記』「下つ巻」)
1000万ドルの夜景
宮内を散りばめたような大阪の夜景は素晴
らしい。田辺聖子は「感傷旅行」に記す。
「あの道路を蛇行してのぼりつめると、オネ
サカの町がひとつで見おろせる……それはな
んどなく一種のきらめき、もしくはときめき
としかいようのない、かいまみた大都會の
寝みだれ姿であつて、川や淡水湖の光る水面
を、いたるところにちりばめつつ、右等ガス
のような静けさでもつて、海さむまで放恣に
流れゆき、ながながと横たわり、あでやかに
瞑目していた。夕ぐれ、とりとめもない大空
の下にひろがった大都會は心をそそられる印
象だった」

コース概観

今回のコースは、古くから興法寺や生駒山宝山寺への信仰の道として利用されてきた辻子谷越で生駒山頂へ登り、縦走路を歩き、暗峠を越え、信貴山方向に進み、鴨川峠を下り、生駒山へ出る。石仏寺、法隆寺跡が点在し、誰もが堪能でき、家族揃って存分に楽しめる。ちよとしたアップダウンヒルの四季の変化が楽しめるコースである。

近鉄石切駅で下車。南出口から線路沿いに石切神社方面に少し行き、ガードを東へくぐると幸田医院があり、すぐ里切地蔵に出会う。弘法大師が、一夜にして爪で刻んだという伝説を持つ、地蔵十三石仏。室町時代の作で、閃輝石の自然石の面を平らにし、中央に地藏菩薩の立像、その左右下に冠をつけ、法服を着用した地藏十石仏の内の二体が線彫りされている。

「地蔵と關原は」⁽¹⁾という言葉がある。地蔵菩薩と地獄の關原土はともに関原信弘の分身で、地蔵菩薩は慈悲をあらわし、關原土は忿怒をあらわす、という意。地蔵十石仏仰とは、地獄におちた者でも、現世で地藏菩薩を信仰していると、救われて極楽往生できるといふ信仰。「今昔物語集」巻十七にある五十の説話のうち三十一が地蔵に関する説話で



生駒山竹道略図

ことができる。遊園地が休みや夜間の場合は、入口の階段とスカイラインの間の車道を南へ入口まで歩くことになる。

遊園地の人気マシーン、スカイループを横目に山頂へ急ぐ。遊技施設で遊ぶ場合は必ず入場券を購入すること。山頂を通るために遊園地内に足を踏み入れたのを忘れないでほしい。生駒山頂の三角点(642・3m)は

あり、いまなお庶民の心に生き続ける地蔵信仰の当時の姿をかきまわることが出来る。

道は登り坂となつて続く。開業の頃はこの急坂まで通り、古い家はあくまでも古い中に、モダンな家が幅をきかせている。所々に宝山寺への町石が残り、江戸時代中期から現代までのたくさんの石仏が並ぶ。仏たちにはどれも花が手向けられている。西園八十八ヶ所になぞられ、八十八ヶ所の本尊と弘法大師がまつられている。

ブーンと機方葉の匂い。カレー粉のような香もする。ここ辻子谷では薬種を粉末にしている。現在は電力にとつて変わったが、江戸時代初期から水車を利用した工業が発達し、胡粉(貝殻を粉末にして作った原料で塗料や漆器の下地、土壁の上塗り)に使用し、や和紙薬種を細かく砕いていた。昭和初期の最盛期には45軒の工場があつたという。

ずっと急な登りが続く。道はやがて谷間の山道となり、三味尾十三重石塔の案内を見る。永仁七年(1209)に建てられた供養塔で、高さ4.38mの花崗岩製。初重四面には、月輪内に大きく梵字を篆書彫り刻み、見事な書体の銘文が残る。

雲山寺 奉造立者一基 永仁七年己亥三月九日 願主僧良弁 大丁立吉圓

ミニレールの頂上駅になつている。

南出口は大坂へじみのテレビ塔が林立する。摂河東屋望ハイクングコースの案内が右に立つ。暗峠とあるので道標に従い進むと、どんどん下山し、生駒山の中腹を歩くことになる。「生駒山」と書かれた小さな看板や、関西独標会の「生駒山縦走コース」とある道標に従えば、間違いない。

ドーム屋根の旧天文台まで砂利道を歩み、笹の茂る山道を下る。展望のある小さな広場の左端に下る道がある。スカイラインを車によく注意しながら横断。休憩所に出る。素晴らしい展望だ。大阪市内から六甲・北茨の山々、淡路島が一望できる。南方展望に広がるのは、奥なづく信貴・二上・葛城・金剛の山々の雄大な姿。流れる秋風が汗ばんだ体に心地好い。秋の草花が一面に咲き誇る中で、清々しい空気を深く吸い込んで出発しよう。

「名勝生駒山麓光寺」の石橋が、スカイラインに背を向けて森に埋もれている。天保七申年五月の銘のある浮彫りの石仏に出会う。笹林を下る。溫和な眼差し心地悪く、腰が曲げられる。ほぼ等身大で鎌倉時代の文木の銘が刻まれている。暗峠には登り減った丸みを帯びた石仏と数戸の民家があり、かつての賑わいの名残りをとどめる。左へ生駒谷を

「生駒」の意味する「三味」の地名とともに、周辺からは蔵書器の出土が知られ、神法寺とは谷をへだてた崖根上には位塔を占め、はるか西方を望むことが出来る典型的な中世墳墓の地である。

もと引き返しながら登ると、石の階段の道に変わる。高尾山法華寺は深い樹木と伝説に包まれ、ソリと静まり返っている。生駒山中のあちこちに足跡を残す役行者が、靈気が漂っているこの地に伽藍を草創したと伝え、修験道場として行基や空海も修行したという。

本尊の木造十一面二臂菩薩は、樟材一本造り、平安時代のすべた彫刻で大阪府の指定文化財になつている。堂内には、4月の神止天竺ゆかりという時雨桜、めずらしいワゴン桜があり、5月のスズラン、11月の錦織りなす紅葉と、四季を華やかにしてくれる。

三び谷筋の道を山頂目指して登って行く。道は一度谷に下り、小さな沢をまたぎ、急登すると御堂道路に出る。横切るとまっすへ延びる石畳の道。登りきるとそこは生駒山土産屋。再び車道・信貴生駒スカイラインを横切り、遊園地北入口の階段を登る。入場券売場で「ハイクング」ですので通して下さい」と申し出ると、入場券を買わないで通り抜ける

下ると近鉄南生駒駅へ4・1km。大阪へ急坂を下ると元春日校前神社を通り近鉄枚岡駅。

時峠を越え南に向かう。だからだらした坂を登りきると府民の森。なるかか園地のほくら広場。ここから公園の案内板に従って客防谷を下り、東大阪市立郷土博物館を自営し、生駒山へ出るコースもとれる。線路を南に縦走する。右側にプロック解が続く。どんどん進むと、鴨川峠につく。左へ下ると千光寺を経て元山山口駅へ3・2km。右へ鴨川谷の急坂を下り、近鉄生駒山駅へ出る。

コースタイム

近鉄生駒山駅(奈良線)発行20分 近鉄石切駅(5分) 爪切地蔵(5分) 水車小泉跡(50分) 興法寺(40分) 生駒山頂(40分) 暗峠(30分) 鴨川峠(50分) 聖堂山駅 近鉄生駒山駅

費用
近鉄生駒山駅→石切駅 290円
聖堂山駅→鴨川峠 250円

地形図 2万5千→生駒山・信貴山
問い合わせ先

生駒山遊園地 0729(85) 6001
800分 9時30分~17時 水曜休 夜日営業
東大阪市立郷土博物館 上四条町18-12
0729(84) 6341
9時30分~16時30分 休館日曜・祭日の翌日

初秋の山

特選 コースガイド

- ① 灯明山
- ② 野登ヶ峰
- ③ 鉄山
- ④ 鳥見霊時(モンガワラ)

見えるころは、静かな山よりも華やかな山が
良い。洗練された都会的雰囲気が漂う神戸の
街から見る六甲の山々にはこの時期うってつ



暑かった夏が過ぎ、秋風が立ち、ススキの
原に風そよよ季節になった。山は徐々に秋め
いて来りの本音を伝える。
秋の気配とともに、何となく心に涼しさを

初秋の道(六甲)

秋の六甲を思いきり楽しもう。

六甲山へは、布引ノ滝から市ヶ原を経由す
ると、天狗尾根道やトエンテイクロスから核
谷道が良い。地蔵堂、鳥見霊時道は標高コ
ース、下山は鉄山山の腰道や、大御堂から飯
六甲へ。

石切道から腰道へ、腰道尾根道を経由す
ると、やはり右側山へ。このコースも味わい
い。

飯六甲、丁良路線の各駅から入山でき、
大阪や京都からでも手軽に日帰りでできる山で
ある。また足の弱い人は、ケーブルやローア
ウエイが山頂まで運んでくれるので、後は山
頂周辺の遊歩道を歩けば良い。

阪急やJR沿線の各駅から入山でき、
大阪や京都からでも手軽に日帰りでできる山で
ある。また足の弱い人は、ケーブルやローア
ウエイが山頂まで運んでくれるので、後は山
頂周辺の遊歩道を歩けば良い。

秋のコースが多い。海風が爽快に吹き抜け、
展望にも恵まれ、谷あり、森あり、岩場あり、
そしてカヤトの高原もある。

神戸市民の憩いの山として人気も高く、い
つも大勢の人でにぎわっている。カラフルで
華やかな印象が強い。外国人のハイカーをよく
見かけるのも、神戸の山ならではの光
景である。

たのしい山歩き

尾瀬雑考⑫

「残雪の尾瀬」

松下 満

以前(第1号)も2年連続、尾瀬は登山地帯で
あると紹介したが、今年の尾瀬の残雪は異常
に多かった。2月までの降雪は例年より少な
めであったが、3〜4月の降雪量が多く、ま
た降雪日が続いたので降雪が少なく、ゴー
ルデンウィークでも場所によっては例年の倍
以上の残雪があった。山小屋では雪おろしを
4月に行なった地区もあったとか。

白い尾瀬に魅せられて入山を繰り返してい
る私だが、今年も5月1日に入山した。大宮
水より歩行開始(この時期福島の沼山峠か
らの一般人の入山は不可。一の橋までは禁
断された道を順調に歩く、そこからいよいよ
冬道である。増図に表示されている夏道コ
ースより一つ東側にある冬道コースを尾瀬湖
に向かつて登る。ところどころ雪を踏みかき
て川を渡りながら雪の急坂を登り、三三三
の標高4000mの峰に上る。眼下に2000mの
山岳、眼下に白い尾瀬湖(まだ結氷中)が見
え、一年に一度の素晴らしい光景である。

尾瀬湖を白濁し一気に下る。三三三尾瀬湖
のところどころに小さく雪面が顔を見せて
いる。そこに膝ヶ岳の頂上が逆さに映る光景
も絶好の絶景だ。

5月3日、今年5月2日である。午前中2
時間程吹き雪舞われた。この時期の入山は
午前中だけの行動を主体とし、やはり尾瀬湖
畔と尾瀬ヶ原下田代で各一泊する余裕のコー
スをお勧めしたい。

今年5月まで雪が降り続いた。梅待峠
山の奥側、上田代、下田代、沼山、尾瀬湖
沼山間コース、三三三下、三三三尾瀬湖、沼山
峠待近は完全に雪に閉ざされ、軽装の登山者
は難儀していた。また6月1日尾瀬湖湖畔コ
ース(尾瀬湖湖畔は雨後は凍結するのがベ
ター)を歩いた人で4〜5人が凍死し、沼に
落ち全身凍死された。山小屋に収容されてい
る。思わぬ災害に足をとられ、打撲・捻挫・
骨折と事故が多発した年であった。

伊勢湾に浮かぶ神島

灯明山

初級コース(★)
福井 正 身

伊勢湾に浮かぶ神島に灯明山がある。神島といえは、三島由紀夫の小説「潮騒」で知られた島である。

「このとき急に嵐が、窓の外で立ちまはだかつた。それまでもにも嵐雨はおなじ強さで降りをめぐって荒れ狂っていたのであるが、この隙間に風はたしかに弱し、高い窓のすぐ下には大空洋がゆつたりとこの持続的な狂歌をゆすぶっているのがわかった。少女は二、三步返いた。出口はなかった。コンクリートの煉げた壁が少女の背中にさわった。『初江』と若者が叫んだ。その火を飛び越して来い。その火を飛び越してきたら』少女は思えてはいるが、滑らかな弾んだ声で言った。……」
三島由紀夫「潮騒」より

京都・大阪からは朝7時過ぎの近鉄特急に乗れば、鳥羽作田原行き時50分乗神島行き定期便に乗船できるだろう。佐田岬半島は近鉄鳥羽駅に隣接しており、10分程度で渡船できる。船を出ると、左に笠志島、右に板手島を見ながら、船は伊勢湾を横断して伊勢湾上に出て行く。振り返れば、首尾大山と伊勢の朝熊ヶ岳が雄くに望まれる。波に大きく揺られながら、笠志島から30分程で、神島港に入港する。

港には島内案内図板があり、島を一周するコースが描かれている。今回ご案内するのは、この時計回り一周コースである。

神島郵便局の左側「八代神社・灯台方面」の矢印のある狭いせこに入ると、喫茶「スエヒロ」を過ぎると坂になり、共同洗滌場に出る。小説「潮騒」の中にも出てくるおの天水を利用した島で唯一の洗濯場。水道が島頭から島まで引かれて十数年にもなるのに、今でも島の女性たちが利用しているのには感心する。坂は次第に急になり、保育所前まで登ると坂を見下ろせる。「八代神社・灯台」の標識のある所で左をとり、神島水道の本港地の横を通ると、道は山道となり、神社の裏道に出る。八代神社は海の神・納言見命をまつり、大晦日から正月にかけては、有名なゲーター祭が行なわれる神社である。

海上より見た神島・横山岳



行なわれる神社である。山道に戻って、コンクリートの階段を登っていくと左側に海の景色が開ける。

神島灯台に着けば、広々とした海が美しい。対岸には浪英半島を望み、その間の海峡をタンカーがゆつたりと通過して行く。早くには、愛知三河の山々も見える。

この神島灯台は、海中に隠れる朝日礁という暗礁を明示するため、明治四十二年五月、電筒灯としてはわが国で二番目に設置された灯台であると説明されている。

得られないということ。これらを考慮してお出かけ頂きたい。

(コースタイム)

神島港(20分) 八代神社(10分) 神島灯台(15分) 山頂(10分) 観音崎(10分) 神島小学校(10分) 古里浜(10分) 神島港

(地形図) 2万5千1号志摩市宮定開路 0599 (25) 4776

(往) 佐田岬港・神島行き (所要) 20分 7時42分・9時55分(午前中)

(還) 神島港・佐田岬行き 15時30分のみ(午後)

伊勢・志摩の名山という訳ではないが、伊勢湾の入り口にボウソと浮き輪島といふことで、海に囲まれた伊勢半島の美しい山として灯明山を紹介した。

関西からは少々遠いと思うが、海に憧れてを出かけ頂きたい山である。



灯明山付近地図

さて、ここから山頂へは、灯台の石段手前の左へ登るコンクリート道をとる。しばらく登って、小さな屋根を乗り越え手前にローダー塔と書かれた標識があり、右へと登ればわずかで鉄塔に着く。灯明山の三角点(神島最高峰)は左側の崖の中だが、この辺りからは残念ながら景色は全く見えない。

また、ここから山頂へは、灯台の石段手前の左へ登るコンクリート道をとる。しばらく登って、小さな屋根を乗り越え手前にローダー塔と書かれた標識があり、右へと登ればわずかで鉄塔に着く。灯明山の三角点(神島最高峰)は左側の崖の中だが、この辺りからは残念ながら景色は全く見えない。

分岐に戻り、「観音崎・不動岩」と書かれた標識に従って、小尾根を廻り越して急坂を下っていく。

観音崎とは、戦国・愛知領伊勢郡から発射された大砲の弾着点を観察して、連絡を行った場所。小説「潮騒」の名称として知られている。



観音崎の「潮騒」の名所

夏場は客が多く、数少ない食堂は混雑が予想されるというので、三つ目には、コース途中で水が



特選コースガイド

鈴鹿

花と鹿の楽園

野登ヶ峰

中級コース(★★★) 岩野明

野登ヶ峰(アキラ山)は鈴鹿山系の主脈からはずれ、孤立した美しい山で、回りをサクラグチと薄層平の富山に囲まれているため、ほとんど知られていない。私が初めてこの山を知ったのは、3年前で野洲川ダムの横サクラグチに登った時、南正面にすばらしい草原の山があり、びっくりして早速登って植林を踏破した。尾根上には広い台地が多くあり、カヤと背丈20〜30cmの笹原が続き、アセビや谷笹木が適当に生えていて、自然の庭園になつていた。その中を何もの道が縦横無尽に延びていて、鹿の楽園にもなっている。普通道では考えられない。里に近いこんな低い山が、いったいどうなっているんだと驚いたくなる。この山は先を急ぐ山ではない。鹿の角でも

探すつもりでのんびりと楽しんでもらいたい。ヤマシヤクヤクと谷粟木の花の咲く頃、そしてアセビの新芽が色づく時期は特にすばらしい。

ある日、この山で真白く風化したシヤレコクベ付きの見事な鹿の角を発見。ピッ・クラコクク

結河の集落から川の左側、飯川林道を行くとすぐに大きな砂防ダムがある。この上流の右側に谷がある。谷の上に野登ヶ峰の草原が一部見えている。この谷に植道がある。河原から谷に入り杉木立ちの中を登ってゆき、砂防ダムを3カ所越えて谷を渡り登ってゆく。作業小隊の横を通り、さらに進むと小さなガレ場がある。ここから先は道がはっきりしないが、谷に沿って登ってゆくと、すぐ正面に杉の植林帯の中を登ってゆく植道がある。水はこの谷で補給すること。折り返しながら登ると右の尾根になる。この道筋にヤマシヤクヤクがかなりあり、5月の連休頃には白い大きな花が咲くだろう。さらに登ると杉を植林した後に金網のフェンスを越えたり入口に着く。中に入って登ってゆき頂上直下で右のフェンスを乗り越え、雑木の中を少し登ると鹿の広場に到着。右が野登ヶ峰、うっそうと茂った大きな杉林の中に三百坪がある。鹿

野登ヶ峰とけもの道



望は無い。引き返して尾根を北東へ下ると、アセビと笹原の中に鹿の広場がある。笹原の南側は田村谷で大きくガレている。ガレの上が最高峰の休息場所。正面や薄層平の植林と仙ヶ岳・ペンケイが望める。けもの道が続いているが、ここでも歩けるので適当に進むと、うっそうと落ち込んだすばらしい草原がある。鞍部に鹿の広場もある。この山の道はイブキ笹とちがいでいい。この



斜面でゼスケーが楽しめるかも? 一旦下って登ったところからアセビが主体の樹林帯に変わる。次の鞍部からカヤと笹の台地が広がっている。尾根上には最近赤い杭が打ち込まれ目印になる。台地を回り込んでゆくと笹原の中にアセビの群落がある。前方に又笹原の山が、その姿に形の美しい山(アキラ山)が見える。鞍部を下って右に回り込んで登ってゆくと、カヤの草原の頂上に着く。ここから先は二次林に変わる。さらに進むと広い鞍部に着く。この先尾根はきれいな二次林が長く伸びがはつきりしない。

落ち込んでいるが、道はかなり上を巻きながら下がっている。かなり下がった所にガレ場があり、ガレの先は道が消えている。谷がすぐ下に見えるのでガレの右側をストレートに谷に行く。大きな滝の下に着く。谷に沿って下ると砂防ダムに出て、左を越えようとすぐ飯川の河原に突き出た林道が見える。なお結河の奥大河原までバスが入っているが本数が少なく不便。マイカーを利用してほしい。飯川の河原に駐車できる。

- △コースタイム▽
- 谷入口(前) 野登ヶ峰(30分) ガレ場(50分) アセビの群落(30分) 鞍部(50分) 林道(30分) 谷入口
- △地形図▽ 2万5千1:10万・伊勢
- 昭文社「145御在所・霧ヶ峰」

琵琶湖周辺の山

長宗 清司著 四六判・二〇〇〇円
うり坊の足跡 比較や比良、伊吹や鈴鹿など、近江の山々を、日帰り山行中心に気の合う仲間たちと10年で登山歩いた足跡の記録。

霧の森(ふくいの山・四季)

増永 迪男著 四六判・二〇〇〇円
野伏ヶ岳のフナ、荒馬岳のヒノキ、徳平山のミズナラ、難刀岳のトチ、新緑、紅葉、霧氷と四季折々の装いで「あの木」が待っている。

ナカニシヤ出版
京都市左京区吉田二本松町2
京都 075-751-1211 〒606

特選コースガイド図

大峰

白子谷から

鉄山

上級コース(★★★)

児嶋弘幸

鉄山は大峰山脈の主峰、赤山から北に伸びて...

白子谷は赤山と鉄山の間の尾根筋を頂頭に...

根道はヤブ山で、本コースは徒歩ききヤブ山...

支尾根から鉄山を望む



落ち口に降りる。谷は次第に傾斜を強め、源...

わずかに踏み跡の残る道で、右手、樹林の...

て鉄山の頂を踏む。

頂上を少し西にとると、尾元直下の懸崖が...

湯路は、北東に延びた尾根道をバリゴヤの...

ハコースタインム

近鉄下市口駅 奈良交通バス1時間約27川



鉄山からの下山路

合2時間10分 白子谷出合(2時間)7丁

のナメ滝(初谷)支尾根(和分)尾根分岐(50)

分)鉄山山頂(2時間)神童子出合(初谷)

白子谷出合

地形図 2万5千1南日東・赤山

問い合わせ

天川村観光協会の

奈良交通

その他

〇川合から白子谷出合までのアマローチに...

無難。

〇沢歩きのコースとなるので、ヘルメット、...

地域に合った品揃えを目指しています。

三重県唯一のプロショップ

登山・スキー・アウトドアのことならおまかせ下さい。

登山・スキー・アウトドア

GRINDELWALD グリンデルワルト

営業時間 AM10:30~PM8:00 毎週月曜日定休

三重県四日市市諏訪町13-3 TEL 0593-54-0627

特選コースガイド 吉野

東吉野

とみのれいじ
鳥見霊時(モンカマ)

中級コース(★★★)
農佐次 盛一

奈良県中部あたりには神武天皇の東征にまつわる伝承が多く、古代には現地勢力との激しい戦いがあつたことが推察される。やがて神武天皇は大和を平定し、天地地産を各所に配つた。その天地地産を祀つた所を鳥見霊時と称し、地方では大切にされている。
ここに紹介する東吉野霊家の鳥見霊時とそのうちの二つで、一部の参拝には足子そのモンカマで呼ばれている二等三角点のピークだが、地元では字名よりももっぱら鳥見霊時と呼ばれて親しまれている頂である。
霊家といえは五条の代官を襲つた天孫の孫の地として有名な、どこに行つても古村員太郎の名が出てくる。また我々が日本オオカミが最後に捕獲された所でもあり、あの

大英博物館に展示されている日本オオカミの複製は、この地で捕獲されたものである。
小川には日本オオカミのフロンズ像もあるし、近くには天孫御子行成太郎の原座の使や天味義士記念碑、天候観測所がある。小の丹生川上神社には、ここ以外には見えず鳥にしか見られないという、天孫御子行成太郎のツルマンリコウ(蘭花?)、8月頃もあるもので、時期が許せば立ち寄つてみるのもいいだろう。
私達は大人旅だから、近鉄橿原駅から霊家のバス停までタクシー(3,800円位)を利用したが、バス利用なら駅前から霊野まで行き、霊野から大又方面行きのバスに乗り換えて霊家下車するといふだろう。

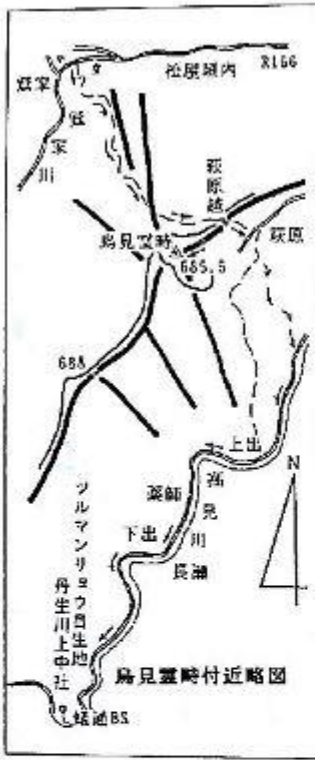
鳥見霊時へは、霊家から鳥見霊時の山腹の萩原の村へ通じている。昔の萩原の峠道を利用する。霊家の三三路を左へ、松原内の方へ歩く。萩原越の入り口は、うっかりすると見逃してしまふ細いので注意してほしい。三三路から小さな道を通り、100mほど歩いた右側に雁の跡が現れる。民家の壁際に、「左萩原 右霊野」と刻まれた小さな石柱が立ち、右折して峠道に入る。最初はずいぶん道が分岐もあるが、山側へ登路をとって登り始めると、次第にしっかりとした道になつてくる。社林の中を、曲折を

鳥見霊時山頂の石碑



描きながら登つて行く昔ながらの峠道だが、今時こんな峠道が残っているのは貴重なものだ。寂として物音一つしない吉野形の森林は見事で、9月頃ならば足元に可愛なナマジンホトトギスやアフリソウなどが咲き、目を染ませてくれる。道標こそないが、登りはあくまでも明確で迷うことはないだろう。

登路がやや平坦になりはじめる鳥見霊時への直登コースを右に分けるが、山腹を巻ながら続いている左の萩原越の水平道を歩くことをお勧めしたい。足事に育つた吉野杉の中にハイキングコースのような道が歩き、少しの登りで萩原越の峠に着き、休憩に成道。峠には地産の林道が通り、大きな地蔵堂と築や鏡、蛇などのミニチュアが飾られた小さな山の神の祠がある。鳥見霊時へは峠から腰線の踏み跡程度の細い道をたどる。雑木の枝が張り、倒木もあるが、峠から大して時間は



かからない。頂上が近くなる頃、足元に二等三角点の標石が転がっているのが驚くが、その先に新しい二等三角点が埋まっている。三角点の側にはアンテナと、奥には鳥見霊時と刻まれた大きな石碑が建っている。視望はなにが近々整備されると聞いたから、その時は登降もできたり、多少の展望も得られよう。
峠に戻つて、来た道を霊家に下つてもいいが、ここまで来れば萩原の村に下りたい。峠からセメント舗装の道が萩原に下っており、途中から舗装道を離れて山道を下ると村道に下り始め、村道を行くと、東の方にすつと見える高見山が美しい角度で見える。萩原は高所にある村だが、高見山の西麓

台で、民宿もある旅館もある。
萩原から上出へ下る地形図の萩原越は廣道になつたのだが、仕事道を伝つて高見川の車道に下れる。それは村の一番下の背の低い家の前から入るのだが、分かなければ村の人に聞いた方が手取り早く親切でもある。植林帯の細い仕事道をまめに拾いながら下つていくと、やがて高見川の車道に出て丹生川上神社へ向かつて歩く。
高見川の沿線は村おとしてキャンプ場や、イレも新設され、岩を過ぎ高見川の渓流は歩く者を驚かささない。田舎のギンモクセイの巨木を過り、前方に賑やかな声が聞こえてきたと丹生川上中社で、緑道のパス停、菜園

茶 通信販売

くつろぎとやすらぎのタイムにはやっぱりお茶が、ティパックが便利です。山へお持ちください。ご家庭でもどうぞ。

1. 煎茶	3g	全島1茶葉(真鳥)包装	200円
2. はうじ茶	3g	どれでも100g入	450円
3. 玄米茶	4g	200円	200円
4. ウーロン茶	4g	200円	200円

●煎茶は1週間以内にお届けします。
●代金引換は別途送料(送料)をご確認ください。
●お茶は3ヶ月以内の賞味期限です。
●お茶は1パック分を1パック分としてお届けいたします。

茶 専門店 いっしょに楽しむ

TEL 074-724-2014
FAX 074-724-2015

野行きのバスに乗り、菜園野から萩原行きのバスに乗り換えて歩く。
ハコースタイム
橿原駅(タクシー)25分 霊家(50分) 萩原越(10分) 鳥見霊時(10分) 萩原越(15分) 萩原(20分) 高見川(50分) 樋通(丹生川上中社)バス停 菜園野(50分) 萩原駅(撮影) 2万5千(菊子・大豆生 奈良交通運輸課 発行)

沿線ハイキングガイド

近鉄 京阪 阪急 南海 神鉄 山陽電鉄 京電・京福
公開ハイク 歩け歩け大会 文学散歩 歴史散歩 その他

近畿

▽文学散歩「天翔る御橋太子の道を行く」(太子の眠る王塚の里) 9月5日(日)集合南大阪線ノ本駅

前10時(ハコース)上ノ太子駅(波

福寺)西芳院(月明天皇陵)推古

天皇陵(小野妹子墓)上ノ太子

(約7時)会費2000円(軽食料

別添)参加自由(講師大阪成蹊女

子短期大学教員岡田保博氏)天王

寺車乗り6(624)03382

▽万歩ハイキング、聖徳太子ゆかりの地をたずねてシリウス(石舞台から土舞台へ)9月12日(日)集合南大阪線御堂筋線中央駅

札口9時30分(ハコース)橿原神宮前駅(石舞台)向野(飛鳥寺)奥山久米寺(安倍文殊院)土舞台

(解散)桜井駅(約12時)会費

無料(バス代2800円小)1400

円(特設資料は別途)参加自由(天

王寺車乗り6(624)03382

▽近畿ファミリーハイキング、近鉄沿線やまの水をたずねて「万葉の道(宮滝・泉の小川)から吉野へ」9月15日(日)集合吉野線大和上市駅前10時(ハコース)大和上市駅前(宮滝)宮滝道(桜木神社)泉の小川(如賀崎)宇温泉谷

吉野駅(約8時)会費無料(バス代3000小)1500円は別途)参加自由(天王寺車乗り6(624)03382

▽万歩ハイキング「新秋の泉見山公園」9月19日(日)集合大阪線長谷寺駅前10時(ハコース)長谷寺駅(初狩ダム)高東城跡(泉見山公園)養源寺(約12時)てくてくま

つおファミリーハイキングと合同会費無料)参加自由(上本町車乗り6(775)33566

▽湖日自燃教室「津風呂湖の雄しぎの里」9月19日(日)集合吉野線大和上市駅前10時(ハコース)大和上市駅前(津風呂湖)津風呂神社(入野)窪屋(内)敷すきの里(大和上市駅)約7時(会費無料(バス代別添)参加自由(講師吉野町長城山王寺車乗り6(624)03382

▽館屋セブンマウンテン「電ヶ岳登山」9月19日(日)前日18日(日)北谷ヒュッテにお集り下さい。出発

北谷ヒュッテ7時(ハコース)北谷ヒュッテ(ホタガ谷口)遠足尾根

分岐(龍ヶ崎)表車(石川村)小

時(長尾谷)三敷梁(宇賀梁)キヤ

ンプ村(バス停)約12時(北谷ヒュ

ツテは三級バス宇賀梁キャンパ

バス停下車徒歩3分小屋0594

78)0816自宅059947

8)0850宿泊料3800円は

現地でご各自お支払い下さい。定員

200名(中学生以上)健康を考

参加費1000円(3日前まで)電話

にて申し込み大阪地区(日本町車

06(775)33566名古屋地

区05993(54)7007・0

52(5882)33255

▽近鉄登山「大時の山・吉野古道を歩く」9月25日(日)26日(日)集合吉野線市口駅前14時30分(ハコース)市口駅(河川温泉)

(2日)三ツ松寺(五葉岡

泉)大井ヶ原(百木原)四寸岩

山(夜寝ヶ原)盛王堂(吉野駅

(約12時)会費9000円(バス代1210円は別途)定員200名(宿務申し込み制)参加資格(中学生以上の健康な方)講師奈良山岳会)天王寺車乗り6(624)03382

▽特別企画「大台ヶ原遺跡一泊の旅」10月2日(日)3日(日)集合あべの橋駅前17時(ハコース)あべの橋駅前(大和上市駅)大台ヶ原遺跡

(約9時)会費無料(参加自由

名古屋車乗り05993(54)7007・052(5882)3322

まで)電話にて申し込み大阪地区

上本町車乗り6(775)3356

6名古屋地区05993(54)7

007・052(5882)3322

▽葛城高原すままつり(葛城高原、秋の山野草観察ハイキング)10月24日(日)集合御所線急坂駅前9時30分(ハコース)急坂駅前(ロープウェイ葛城登山口)葛城の滝(行者の滝)白樺食道(女坂山)ロープウェイ葛城山(映)約6時(会費無料(バス代別途)参加自由)講師奈良植物研究会委員瀧川貞氏)天王寺車乗り6(624)03382

▽近鉄登山「大叢山系断崖ハイキング」10月31日(日)集合吉野線大和上市駅前3時30分(ハコース)大和上市駅前(高原)高尾(無名

の滝)五香園(トンネル)毛ヌ(ロープウェイ)下市口駅(約12時)会費無料(バス代は別途)定員200名(電話申し込み制)中学生以上60歳までの健康な方)講師奈良山岳会)天王寺車乗り6(624)03382

一東大台回遊「大台山の家(泊(2日)大台山の家(西大台回遊)大台駐車場(大和上市駅)あべの橋駅(約12時)会費11600円(定員120名)電話申し込み制)あべの橋東口エレベイトセン

ター06(624)0026

▽万歩ハイキング・飛鳥キャンベーン「秋の飛鳥歴史公園めぐり」10月3日(日)集合皇宮線飛鳥駅前10時10分(ハコース)飛鳥駅(歴史公園)高松塚周辺地区(祝戸地区)石舞台地区(仮仮遊宮跡)甘酒丘地区(亀石)鬼のまいた(飛鳥駅(約12時)会費無料(参加自由)天王寺車乗り6(624)03382

▽秋の吉野山キャンベーン「本誓寺(吉野山)10月3日(日)集合吉野線吉野駅10時(ハコース)吉野駅(本誓寺)藤田(如意輪寺)五郎平(黒木)勝子神社(吉水神社)菟草堂(七曲坂)吉野駅(約9時)会費無料(参加自由)天王寺車乗り6(624)03382

▽歩け歩け大会「飛鳥の里・パノラマ展望(飛鳥散策)」10月5日(日)集合大阪線長谷寺駅前11時

10分(ハコース)桜井駅(安倍文殊院)大宮大寺跡(来島寺)甘祖王(和山池)魚池(熊原神社)前(約9時)会費無料(参加自由)名古屋車乗り05993(54)7007

▽特別企画「体育の日チャレンジハイク(巨神の道から二上山の道へ)」10月10日(日)集合吉野線前9時10分(ハコース)吉野駅前(阿待寺)巨神の道(高城の道)一言寺神社(六地藏)共之庄(友麻神社)当麻寺(石光寺)二上山(ふるさと公園)(解散)上ノ市口駅(約9時)会費無料(参加自由)あべの橋と完全ベジ進軍(たにし記念パッチはメール受付者20名)天王寺車乗り6(624)03382

▽特別企画「紅葉の大台ヶ原」10月16日(日)集合あべの橋駅前17時30分(ハコース)あべの橋駅前(大和上市駅)大台ヶ原(口田ヶ岳)正木ヶ原(生石ヶ原)口田ヶ岳(シロカッ谷)大台ヶ原(大蔵沢)シロカッ谷(大台ヶ原車場)大和上市駅前(あべの橋駅

10時)1500円(定員150名(電話申

し込み制)あべの橋東口エレ

イトセンター06(624)00

26

〇これと同じ企画は10月17日(日)にも実施します。

▽近畿ファミリーハイキング、近鉄沿線やまの水をたずねて「丹生川上神社参拝と秋祭り見学」10月16日(日)集合吉野線大和上市駅前9時20分(ハコース)大和上市駅前(大又)七滝(八車)丹生川上神社(藤原)例祭見学(末吉野村)葛城大和上市駅(会費無料(バス代別途)参加自由(天王寺車乗り6(624)03382

▽釣船セブンマウンテン「湖を毎登山」10月17日(日)前日16日(日)伊勢谷公園にお集り下さい。出発伊勢谷小屋6時(ハコース)伊勢谷小屋(根の平)上ノ市(合)コクイ谷(出谷)杉林(雨乞峠)クラ谷(武笠峠)二交場の山頂(バス停(約17時)伊勢谷小屋(三重交通朝明ヒュッテ)バス停(車徒歩15分)小屋05993(93)1762自宅05993(93)1078(宿泊費3800円は現地でご各自お払い下さい。定員200名(中学生以上)健康な方参加費1000円(3日前

1400円)

5

▽葛城高原すままつり

10月24日(日)

10月31日(日)

10月3日(日)

10月5日(日)

10月10日(日)

せせらぎ

たのしかった山行の思い出や記録。四季の自然情報など。常時投稿下さい。一行15字詰20行以内。

題字・小林玻璃三

5月19日、6月1日と2回比良運來山へ登りました。JR津波駅から国道を北へ歩き始め、大きな石壁の前で左折し、金比羅谷道を登りました。青空と太陽に輝く美しい新緑を景ながら、小鳥のさえずり、ホーホケキョの声を聞きつつ、約3時間半で頂上に到着しました。

した。

5月の晴天の山頂は全く極楽浄土です。秋や冬には背く景える美しいお湖は景観が覆っていました。笹原から打見山経由で水炊場・クロトノハダの岩場を通って16時すぎ志賀駅へ下り古都に帰りました。(定稿 穂積)

ずががんばりましょう。

(山形 盛之)

今、楯田馬の山地にこだわっている。何故だか、と疑問に思われる御人がいるのだが、答えは、絶路に住いるからである。

独りの時は小型のジムニーで1時間も取ると、700、800坪の山地へ飛び込み、2時間も取ると兵庫県の最南端「次ノ山」の登山口に到達する。高・峻・速を若い仲間と集り語り合った時代は過去となり、老いを知り得た今、日本海から太平洋まで接する兵庫県の探し求めるものの多さを知り、時間と精力が枯れれば採し続けたいのである。

山地に生ける動物類、先人達の作りし歴史を今まで知り得なかつたことが悔まれてならない。これからは多くの仲間を得て、少しでも満ち足りたたいと願っている。(定稿 穂積)

再び「新ヶ岳」について
本誌第10号に、菅生の初々岳の投書が掲載された。沢山の山の方からお問い合わせがあり、その回

答を兼ねて、ここに整理をさせていただきます。

(1)所在地(高)

地形図1:2万5千「菅生山」

石期峠の南西0.5、

標高1016・711、

点名「新ヶ岳」(4等)

山名「新ヶ岳」

(2)調査協力「勝佐次盛一氏」

(3)登山道「尾崎谷宮本街道」

これは20年も前に出たもので、すでに絶版。今回の伊勢神宮式年遷宮を記念して「遊行」伊勢本街道・大坂から伊勢へ」が美字社から7月発行。書価3300円。(定稿 穂積)

(4)登山道

後継は謎み程度。夏場はヤブに埋まる。本誌第10号本欄に阪上彦次氏の登山記が掲載されているも、あれは、迷わなかつた登山者の例と考えてほしい。会程の熟達者か、ラッキーな登山者でないよう、あのような困難で、特ア、三角点から北方あるいは東方への下山は実行しないこと。絶壁が持つているから……。(定稿 穂積)

(定稿 穂積)



どこへ行くか
新ハイ関西サービス
チェーンへ

①サービスチェーンを利用するときは、電話が忙しければ必ず予約をして下さい。
②予約のときに料金を確認して下さい。

名峰二岐山山頂 小白山・大日山
宇治山頂への駐車場 1台で300円
宇治山頂への駐車場 1台で300円
福島・二岐山温泉
日観蓮 大和館
〒940-0266
福島県福島市大字二岐山温泉
0249-118411
0249-118412
0249-118413

秩父鉄道「クレーン」券も
東武鉄道「利用できます」
秩父 不動の湯
〒368
埼玉県秩父市山田243-12
0494-12311126
富士登山・富士五湖
東海自然歩道
(石川山・ハリモミ純林)
三田山の頂
ペンション コットンテール
〒401-105
山梨県南都留郡山中湖村平野
0555-16518515
四季織りなす乗鞍高原のハイイク
上高地・乗鞍谷へ、冬はスキー
けやき通りと味の宿・日観蓮
温泉旅館 けやき山荘
〒390-015
長野県南安曇郡安曇村乗鞍高原
0263-9312555

6月7日 横浜市の山友秋村氏

杖、丹波1等三角点の崩壊
米毛とされた。1等三角点は5000
高踏破されているが、地蔵山は未
登なので未だ確認することになりま
した。秋村氏は「二等三角点研究
会」の例会で今まで4回同行して
いるが、個人的に一緒に山を歩く
のは始めてであった。
地蔵山山頂に登り、山頂には
一枚のよいと他の標は取り払い新
標をしてから山頂の思い出を写真
に。
続いて高い電線塔が設置されて
いる。電線の三角点に行きましたが
三角点がない。よく見ると5000
の下の台地に板がっている。こ
ないか。屋敷後二人で60、70の
標石を上げて運び上げ、右で囲い、
写真を撮りました。しかし押せば
倒れるでしょう。備後、園土地
理院に連絡をとったところ、近く
に移設することです。三角点
は大切に願っています。(定稿 穂積)

六月山報
5日 杖付公民館「アウトドア教
室」講師として江崎尾山、川

汗をたっぷり流せる温泉と
日本海の鮮魚と山の空
ハイカーの居
ナガサキロッジ
〒949-021
新潟県中頸城郡妙高温泉
0255-16612261
黒沢池ヒュッテ
〒949-021
新潟県中頸城郡妙高温泉町
池の平温泉 ナガサキロッジ
0255-16612261
休養食入浴も歓迎、
10名以上マイクバスで送迎
福島 館
〒250-06 神奈川県足柄下郡
箱根町仙石原温泉
0460-1419041
ハイキング・キャンプに
前後両方公開
箱根温泉 あさけ茶屋
〒510-012
三重県三重郡安曇野町
0593-6317709

一本松案内、参加43名

12日「司」親子アウトドア「講師」として、奥立山自然公園子供の森「民間博物館案内、参加23名」14日「大相模安全会」例会、天理・栲野ノ滝「大相模く石上神宮へ」参加11名

22日「山のついで」例会、田舎徳光山「2万5千」大相模野」と滝谷化しよう会、参加16名

22日 田舎徳光山「二代山」へ。

30日 河川キャンプ場へ、8月アワ「ドラ教室」の下見、奥相模から新緑林道登頂河川線をはじめて行く、天ノ川温泉に入浴して戻る。(下田 祥弘)

この丘のふもとまでせまじし海ありと指さす師のぼく汗つたよ

たらの芽いたどりふさのとう野草の息をふるさともこの緑風か

春休み終え給ひし師の君の目尻さがりし

笑顔待たなむ (種彦王)

立山 関分高原

夢見名山四十一年 暮秋山登只雲煙 天明日出雲相掛 玉立群仙在我前

昨年8月、山好きの友人二人と立山登山に参加した。

室堂に到着し、小休止の後お花畑を縁に覆われた城壁の合間を歩き始めた。奥谷が紅葉を踏みつづ、巨匠に悠然と舞えつつ立山連峰。飲み込まれるかと思ふほどの雄大さに感動した。

一ノ越から見下ろす室堂のパスターミナル、夕日に照らされて黒々と光り輝く「みくりが池」、今にもアルプスの少女ハイジが白い雲に乗って飛んできそうなお光景。さやや明日も又良い天気だろうとほい、山荘に入り、夕食までのひととき雑談をしつつ窓を開けたとたん、地面から白煙が舞い上がり辺り一面霧に包まれ、あれよあれよという間にみくりが池も姿を消してしまつた。あまりの急変にあちためて山の神秘さを堪能する。

翌朝7時30分、山荘を出発し雄山を目標として歩きた。大きな岩や滝がゴロゴロ重なりあつた急な登りを登りようにして登った。休憩し、夜の静寂に目を空に移すと満天の星が煌々と輝き「スターダスト」のメロディーが聞こえてくるので、今にも星が降りそそぎそうな世界でした。

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

消してしまつた。あまりの急変にあちためて山の神秘さを堪能する。

翌朝7時30分、山荘を出発し雄山を目標として歩きた。大きな岩や滝がゴロゴロ重なりあつた急な登りを登りようにして登った。休憩し、夜の静寂に目を空に移すと満天の星が煌々と輝き「スターダスト」のメロディーが聞こえてくるので、今にも星が降りそそぎそうな世界でした。

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

4時30分、山荘に待て、冷たい冷風にあわてて防寒着に身を包みながら日の出を待つ。5時3分、期待に胸を打たせていた太陽が、はるか空の海のかなたから昇ってきた。この神秘的な光景にカメラのシャッターを切つたり、ハンザイをしたり奥谷の一時であった。神主さんの祝詞が始まり御飯いをしていただく、朝日に向かって右方アルプス連峰を迫ってゆくとき、真輝はるか遠くに小さく、ひととき驚く見える山が「富士山」だと聞き、またまた感動。下山後、地獄谷をめくり、みくりが池温泉で汗を流し、11時30分室堂後にした。(前田 幸子)

日本最高位の温泉 (2400m)

立山・室堂平 みるりが池温泉 連絡先 〒930 富山市五福東広町 07641410434

ハイキングに、スキーに、志賀高原、石の湯ロツジバス 線の連絡平床下車 026913412421

黒煙山、妙高火打山、飯綱山登山、苗糸滝ハイキング 大自然が奏でる四季の詩

黒煙山、妙高火打山、飯綱山登山、苗糸滝ハイキング 大自然が奏でる四季の詩

黒煙山、妙高火打山、飯綱山登山、苗糸滝ハイキング 大自然が奏でる四季の詩

黒煙山、妙高火打山、飯綱山登山、苗糸滝ハイキング 大自然が奏でる四季の詩

山行計画

新ハイキングクラブ関係

このページの山行計画には、「会員に限る」と特記してあるほかは会員外の方でも参加できます。一人ずつ往復ハガキに記入例によって出発の7日前までに到着するように入力してください。費用は「費用」の欄に記入してください。費用は「費用」の欄に記入してください。

山行申し込み書 山行 期日 住所 〒 電話番号 氏名 会員番号 (会員でない方は会員外と記入) 生年月日 緊急時の連絡先

返信用ハガキの宛て名欄にご自分の住所氏名を記入してください。

山行申し込み書 山行 期日 住所 〒 電話番号 氏名 会員番号 (会員でない方は会員外と記入) 生年月日 緊急時の連絡先

リトル比良 5月12日(日) 集合 1R湖西線湯島駅7時57分発 永原行き 湯島駅前 費用 約1000円(交通費別) 地図 昭文社「46比良山系」

コース 羽根山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源

コース 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源

コース 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源

コース 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源 湯島駅前山・北小松(解散) 湯島駅前山・春峰・源

あなただけの里にならないう スキー場まで歩いて1分 白馬ファミリーペンション 和田 田 森

白馬ファミリーペンション 和田 田 森

白馬ファミリーペンション 和田 田 森

白馬ファミリーペンション 和田 田 森

白馬ファミリーペンション 和田 田 森

(製菓のため10月半まで休業)

会 員 募 集

山 想 同 人 会

登山も知らぬ、小さな山を
誰にも会わぬ小さな山を
登り登りて十数年、道は無くても
さしたる、思わぬ良い道と良い開
望に出会った。小さな山を求めて
日曜日に同山行あり、参加人員は
10人以下、会費は定額の小さな会
です。年齢・性別・性別は問いませ
ん、入会希望者は72年切手同封の
大、左記へ
〈事務局〉
〒560 大阪市住之江区南港中
二丁目四番九之三
電話一四三三

費用 50円(保険代)集金地ま
での交通費は各自実費
地図 2万5千1電タ活
係 明文社「44電博・伊吹・
権原」
○花崎英五 ○桶川遠天
中込み 〒519-033 桶川市中大
久保町29-65 桶川遠天
まで
ササ原の電タ活へ、360度の
展望と帰路は滝をめぐりながら、
雨天中止(小雨決行)
京都北山歩き22
三顧山(二股向き)
期日 8月26日(日)知り
集合 1長京橋山陰線のみば
7時50分(下時2分発に
乗車)
コース 京橋駅→八木駅(タクシ
ン)→榎原→吉見峠→三頭
山→見崎→ドンドン橋→
八木駅→京橋駅(帰車)
費用 約4000円(交通費)
地図 明文社「47京都北山」
係 豊田智博 ○中西信行
中込み 〒610-001 城陽市寺
田大群10の10村山まで
静かなササ原の山歩きをたのし
む雨天中止(小雨決行)
文楽座交遊歩11
牛駒山から高安山(二股向き)
期日 8月26日(日)知り
集合 近鉄石切駅南出口9時
コース 石切駅→瓜切地蔵→木車
小屋跡→興法寺→牛駒山
山→高杉→鴨川村→龍胆
費用 約600円(近鉄龍谷駅
山駅) 船場交通費
地図 2万5千1電タ活
係 山崎 船場交通費
中込み 〒586 松原市岡2の?
の22まで
社子背で生駒山頂へ登り、緩
急階段、暗峠を越え鴨川村を下り
龍胆山頂へ出る。道はよく整備さ
れ歩きやすい。雨天中止
弥山・八経ヶ岳(二股向き)
期日 10月9日(日)11日(日)
2泊3日
集合 近鉄下市口駅18時
コース 下市口駅→大
川川合→三ツ木→三ツ木谷
→三ツ木谷
二日目に 三ツ木谷→大川川合
の22まで
社子背で生駒山頂へ登り、緩
急階段、暗峠を越え鴨川村を下り
龍胆山頂へ出る。道はよく整備さ
れ歩きやすい。雨天中止

山 行 報 告



山行報告
新ハイキングクラブ
鉢伏山と永ノ山(一泊二日)
5月2日(日)雨、5月3日(月)雨
(一)三日目 大俣駅7:50(集合)
8:05発→八幡原10:13→30発→
鉢伏バス停11:30→山の家11:40
→戻坂12:30→小代越13:30→
山の家14:30(宿)
(二)二日目 山の家6:30→小豆こ
ろがし7:40→地蔵堂7:50→8:
30→水ノ山越り9:00→水ノ山
10:15(集合)10:50→神大ヒュ
ッテ11:30→米尾根→小代越12:
40→四郎スキー場13:30→30→山
の家14:30→15:20→鉢伏バス停
15:35発→八幡原16:35→16:51
発→大俣駅18:06(帰車)
5月2日は晴天、小代越まで人が
立てないほどの雑草を体験し、鉢
伏山は断念する。3日は雨止上が
り水ノ山へ、山頂付近はガスた
め展望はなかった。残雪もあり流
と薄雪の香山を味わった。
〔参加者〕三木英子 千葉千枝子
高岡朋男 島野正弘 眞田久子
平敏英子 福島龍介 福島かよ子
藤田節子 奥比呂菜 山高多恵子
山崎英治 横井 隆 横井裕子
安達志朗 若原 登 若原裕子
塚本志次 右藤博史 竹田隆夫
三宅 明 妻藤弘子 前田政雄
多賀子 多賀子 横山隆子
宮崎隆雄 西野隆雄 宮崎隆子
山下 隆 山下敦子 原崎隆子
山田 聡 多田正樹 多田隆子
山崎 隆 山崎 隆 山崎隆子
石田和彦 石田隆子 高野マユ子
北川昌子 中西昭 中西和子
長山隆三 大宮隆雄 ○中西信行
○村田智博
八丁平から鎌倉山
5月6日(日) 晴り
山行時間8:00集合・山登り高川
中村登坂前8:50→9:05→伊賀
谷林道線(左)稲佐合9:40→50→
△T平10:40→オクログ坂10:55
→東谷11:40→鎌倉山12:30→50
→T平13:20→50→鎌倉谷14:
35→24村14:30→16:00→出市柳
駅17:30(帰車)
オクログ坂から鎌倉山への道は

東京本社
「新ハイキング」(月刊)
定価200円(送料別)
東京の「新ハイキング」誌は月刊
です。昭和25年創刊、以来41年間
全国のハイキングファンに親しま
れています。
関東、四国、山を中心とした北海
道東北から九州までハイキング情
報がいっぱいです。
定価200円(送料別)の方は
入会金 500円
年会費 5400円
です。郵振振替を信用いたされ左
記へお申し込み下さい。
新ハイキング社
〒114 東京都北区滝野川7-6
TEL 03-3915-8110
振替口座 東京31169015

地図 明文社「御比良山系」
係 〇松田政男 ○原田 博
中込み 〒610-001 城陽市寺
田大群2の77松田まで
昨年1月は雨天によりスケッチ
ができませんでした、今年5月は雨により中
止になったクロトノハダに行きま
す。登りにロープウェイを使い、
スケッチに時間がかかります。スケ
ッチブックと撮影用具(資料自志
を添送のこと、雨天中止)
京都北山歩き23
大倉山から徳木峠(二股向き)
期日 10月24日(日)知り
集合 京阪出町駅8時30分
コース 出町駅→大塚→若狭
→大塚山→小野山→徳木
峠→大塚(帰車)
費用 約15000円(交通費)
地図 明文社「47京都北山」
係 〇村田智博 ○中西信行
中込み 〒610-001 城陽市寺
田大群10の10村山まで
びわ湖の周遊をたのしめます。
比較的風が強く、小雨決行

よく整備されていたので後半時間が余った。八丁平や鎌倉山周辺の緑は最高だった。下山道ではシャクナゲやイワツチワの花が美しく咲いていた。

◎参加者 野間樹夫 山崎多恵子 山崎義治 飯田 昇 西田小百合 妻藤弘子 太田久子 前田政雄 高橋 寛 新田 豊 竹内正三 小谷 博 竹田利夫 上村 操 塚本忠次 仲秋一郎 仲秋豊子 松林広美 田中貞子 中井ひろみ 太田広子 林 勇男 小島フジ子 新井英代 國松義雄 奥比治実 沼田賢博 則定保夫 谷口とも子 宮坂敬三 三宅 明 上井恵美子 堀井英蔵 米川大穰 ○中西信行 ○村田智俊 計36名

取立山(京浜北山グループ)合同
5月15日(日)16日(月) 快晴
(一日目)京都市地下鉄五条駅10・20(栄色)10分乗車12分SA12・00→12・40→新井北インター13・30→半泉寺白山神社14・10→15・30→あまの谷16・00(宿)
(二日目)宿7・10→東山いこの村駐車場8・50→林道終点9・40→取立山10・00→10→取立平

10・40→50→こつぶり山口・60(昼食)11・40→渡原峠12・10→渡原堂山12・30→谷峠13・20→谷トネル谷口13・40→14・20→勝山温泉(水宿)15・00→16・20→京都駅19・30
2日とも晴天に恵まれ、取立山から宿舎の白山の雄姿を眺望した。水芭蕉も美しく咲いていた。
(参加者) 出口恵次 大宮松枝子 松村広藏 中村彰男 照井 力 奥比治実 大畑幸雄 岡田正治 森澤元博 渡辺洋郎 山崎義治 大津 薫 新井英代 西田小百合 御田信之 藤澤文英 ○村田智俊 計17名

大和葛城山から竹内峠へ
5月30日(日) 雨天中止
昨夜来の大雨のため中止。参加予定の皆さん残念でした。また企画したいと思えます。参考までに5月26日(例)に歩いたコースタイムを紹介しておきます。
近鉄阿倍野駅17・50発(会費)・尺二のりかえ→御所駅8・22着→43発(バス15分)・歩行者前8・58→葛城山ロープウェイ前8・58→9・10→標高の滝9・25→行者

ノ滝9・40→50→葛城山頂11・25→12・10→特選庄13・10→20→岩橋山13・50→14・00→平方峠14・30→近鉄磐城駅15・20(松木恵二) スケッチハンキング3
北良を描こう
6月30日(日) 雨天中止
10月に再行します。(松田敏男)

6月12日(日) 晴れ
近鉄湯の山温泉駅8・45→湯の山温泉9・00→湯の川の滝9・15→雲母林道終点大泉駅9・45→1(龍巻谷)→白ハゲ11・30→榎上ガレ11・40(昼食)12・40→雲母峠13・45→雲母峠第五峠13・40→雲母林道→雲母峠第六大泉駅15・50→湯の川の滝15・15→湯の山温泉16・30→近鉄湯の山温泉駅16・50
朝りし梅雨の晴れの涙に入る。巨く沢登りは汗まみれまじまじだった。巨く、最後の林道歩きはさつかったなあ。また秋に来たいね。という山行でした。
(参加者) 鈴木 明 山本雅子 寺西邦夫 藤田和洋 森 美香子 辻原元弘 中西信行 長谷川義広

備前逸夫 ○新入会員紹介(1392まで)
計11名

6月13日(日) 曇り時々雨
出町駅8・00(集合)→05発→大泉山口9・20→40→雲母林道→視察登山口10・15→鉄橋公園10・45→11・00→東峠11・35(昼食)12・30→雲母山(西側)13・00→14・44・00→榎上ガレ15・40→16・00→北大路駅17・15→出町駅17・25
雨の子装だった。林道パラッときただけで午後は上がった。長谷川下川は急なカレありで、P80.4の箇所が広いで下山した。アスファルトや古杉のある橋根を分け、やま道を走った。
(参加者) 上村 操 前田政雄 太田久子 山崎義治 山崎多恵子 渡辺洋郎 小島 学 相田厚子 松本 武 西川泰治 久保田英次 坂口良彦 坂口貞子 宇高木次郎 竹内正三 島田信美 織部ひつ美 藤澤 勇 太田広子 中村英雄 木本文雄 日高嘉雄 堀井英蔵 鈴木春雄 松林広美 山崎明彦子

多田正信 多田春子 中井ひろみ 三宅 明 足野正盛 山口恵美子 武田悦子 林 弘毅 小笠原敏子 出口恵次 北川文字 中島ミンエ 柴田富英子 上井恵美子 ○中西信行 ○村田智俊 計42名

尼ヶ岳・大洞山
6月20日(日) 晴れ
多田駅9・00(集合) 9・35発→下大郎生10・10→林道終点10・40→オオツワ11・20→30→尼ヶ岳12・00(昼食) 45→オオツワ13・00→大洞山取付点13・30→大洞山雄岳14・15(鎌倉)→30→14・35→45→杉平分岐15・15→高王堂15・40→大郎生15・40→15→名張駅17・00(解散)
運よく雷雨の予兆に成り、陣子と曇りらしく、東京からを参加。来阪された甲斐があった。
(参加者) 飯田 昇 石田敏幸 藤田和洋 妻藤弘子 大宮松枝子 中西 昭 山崎義治 山崎多恵子 柴崎賢代 高岡明男 山岸あき子 松林立美 奥比治実 水本加津菜 藤澤 勇 多村 一 小西和 塚本忠次 堀井英蔵 木本文雄 太田広子 多田正信 多田春子

櫻葉集一 辻 和子 井上重美子 増田 隆 原 滋子 中井ひろみ 福田勝治 福田久美子 ○中西信行 ○村田智俊 計33名

西園寺から鳥雲ヶ岳
7月11日(日) 曇り時々雨
出町駅8・30集合→出発1坊村9・20→40→ニオウ山ピーク11・40(昼食) 12・25→御所山12・40→武家ヶ岳13・40→14・00→八雲ヶ原14・55→15・15→北比良峠15・30→イン谷口17・15→47→比良駅17・55(解散)
ササユリの咲く西園寺から武家ヶ岳の素晴らしい風景。グク道のくさりでは後半夕立ちのような雲雨に見送られた。
(参加者) 智野達郎 木本文雄 高岡明男 山崎義治 山崎多恵子 高橋 寛 塚本忠次 宮川幸祥 中村英雄 出口恵次 竹内正三 山本 輝 宮澤信子 松林立美 藤田和洋 山崎多恵子 中井ひろみ 藤田民治 久保田英次 北川文字 奥比治実 高月ミツヨ 太田広子 堀井英蔵 藤澤 勇 三宅 明 若松 登 若松好子 新井英代 仲秋一郎 仲秋豊子

櫻葉集一 前田政雄 則定保夫 吉田直二 ○中西信行 ○村田智俊 計38名

新ハイキングクラブ開設
入会のすすめ
このページの山行機会を通じて正しい山歩きを、たのしい山仲間たちと味わいませんか。リーダー(係)はすべて無償の奉仕で、各自で切符を買い代を払い、宿泊料もすべてワリカンです。
新ハイキングクラブ関西の新動はまだ始まったばかりです。
あなたも新ハイキングクラブ関西に入会したのしい仲間になりませんか。会員には毎月「新ハイキング」別冊関西の山(年間6冊)をお届けします。会員はこのページの山行機会に参加できます。
入会金 500円(ハッパジ代)
年会費 2500円(送料別)

新ハイキングクラブ関西への入会申し込みはこの雑誌に挿入の届出用紙をご利用下さい。第何号から送らせてよと明記下さい。
新入会員紹介(1392まで)
奥比治実 益田刀三 高木健雄 速水秀男 井上久 佐藤 淳 塚本直三 佐藤 卓 塚本知樹子 道本直道 佐々清男 中村悦子 水谷雄雄 水谷清子 柴崎要太郎 片山 一 岡田孝雄 牛島 淳 加地勝子 青山倫子 百崎嘉敏 藤岡重雄 古橋信子 今井山雄 田村 雄 秋村謙一 森 明 渡辺隆司 六車康夫 森 美香子 木村忠一 林 三郎 岩城 剛 嶋田茂樹 本原正博 津田繁美 八尾和幸 渡谷美英 納野幸子 朝倉敏子 大木久子 平井陽子 山村悦子 前田栄三 前田とね子 松崎康弘 松崎山江 中家弘治 中家俊子 飯田秀明 四ノ宮陽子 北村悦子 田村和子 大宮 輝 大平敏子 安部尚子 河野清三 藤澤 勇 宮澤信子 廣瀬とよ子 高瀬出義 高瀬和代 林 千枝子

11号(巻数) 42ページ(後)訂正とお詫び(文中の4行目五万分の地図の近江湖(676.9)は正しくは五万分の地図に長紙に印刷の676.9にピク(無名湖)でした。(編集)